I-O DATA

管理マニュアル

アプリケーションサーバー
APS2-WS19EI3 シリーズ

すぐ取り出せる場所に保管してください

MANU001137
MANU001137

もくじ

注意事項など
本製品を使う上で、お守りいただきたいご注意です。必ずお読みください。

使う前に
安全のために……3
使用上のご注意……5
添付品を確認する……7
動作環境……8
各部の名称・機能……10

初期設定
本製品の設置・導入方法を説明しています。最初におこなうべき設定もまとめています。

導入する
ステップ 1　設置する……12
ステップ 2　NarSuS に登録する……15
ステップ 3　初期設定……20
ステップ 4　ライセンス認証……25
ステップ 5　Active Directory の設定……26
管理ソフト「ZWS Manager」……28
RAID 設定……29
困った時には……33

その他
その他の設定方法を説明しています。必要に応じてご確認ください。

バックアップと回復
バックアップと回復……34
ディスクとボリュームの活用
フォーマット……40
シャドウコピー設定……41
ネットワークの二重化
NIC チーミング……45
ウイルススキャン
Windows セキュリティ……46

故障時の対応
故障の確認、復旧方法などを説明しています。

故障時の対応
故障と思ったら…　……47
オプションディスク……47
カートリッジの交換方法……48
システムリカバリーする……50

資料
本製品の資料情報です。

資料
出荷時設定……53
ZWS Manager のログ、メール一覧……53
アフターサービス……56
ハードウェア保証規定……58

使う前に

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告および注意表示

⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

- 禁止
- 指示を守る

⚠警告

本製品を修理・改造・分解しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない
感電の原因になります。

故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

AC アダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などが AC アダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
・万一、AC アダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などのへ障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
発火の原因になります。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ず本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてからおこなう
電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。

決められた電源で使用する
所定以外の電源で、本製品を使用すると発火・感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める
そのまま使用すると発火・感電の原因になります。

⚠警告　●電源（AC アダプター・コード・プラグ）について

AC アダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない

電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器につながない

発火や感電の原因になります。
添付の AC アダプターや電源コードは、本製品専用です。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない

発火、発熱のおそれがあります。

コンセントまわりは定期的に掃除する

長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

熱器具のそばに配線しない

電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

電源コードや AC アダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない

電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線 (電気の流れるところ) が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く

そのまま使うと発火・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない

発火の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、発火や感電の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない

テーブルタップの定格容量 (1500W などの記載) を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠注意

本製品を踏まない

破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

取り付け、取り外しの際は手袋をつける

ハンダ付けの跡やエッジ部分などがとがっている場合があります。誤って触れると、けがをするおそれがあります。

人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

≪重要≫データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。
本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

バックアップとは
本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが 2 か所にあることを「バックアップ」と言います。）
万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

・HDD などのストレージに記録されたデータは、OS 上で削除したり、フォーマットするなどの作業をおこなっただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。
※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
・NarSuS に登録している場合は、製品登録情報を削除してください。
・本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

その他のご注意

・動作中に本製品や外付け HDD の電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
・本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。
ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。
・動作確認済み以外のソフトウェアは、インストール（利用）しないでください。本製品の安定運用に影響を及ぼすおそれがあります。
動作確認済みのソフトウェアは以下の弊社ホームページをご確認ください。
https://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_soft.htm
・本製品を以下のような機能を設定して、利用することはできません。
- ファイアウォール、VPN、Web キャッシュの役割
- メールサーバー
- 認証サーバー（ドメインコントローラー等）
- ネットワーク・インフラストラクチャ・サービス（Web サーバー等）
・本製品は「スリープ」には対応しておりません。

お手入れについて

本製品についた汚れなどを落とす場合は、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。
・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
・ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
・市販のクリーニングキットは使わない。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

添付品を確認する

□ 電源コード（1 本）

□ AC アダプター（1 個）

□ AC プラグ変換アダプター（1 個）

□ カテゴリー 6A　LAN ケーブル（1 本）

□ サポート USB メモリー（1 個）

□メンテナンスカード（1 枚）

□ Windows Server 2019 Essentials インストール DVD（1 枚）

☑ 管理マニュアル（本書）

メンテナンスカードについて
本製品のシリアル番号（S/N）が記載されています。
本製品側面のカードフォルダーに入れて保管します。

ユーザー登録はこちら…https://ioportal.iodata.jp/
ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしてください。
シリアル番号（S/N）は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
（例：ABC1234567ZX）

AC プラグ変換アダプターの接地接続（アース接続）についてのご注意
接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。

動作環境

対応機種・OS・ハードウェア仕様

以下の弊社 Web ページにアクセスし、該当する型番の項目をご確認ください。

https://www.iodata.jp/product/nas/appliance/aps2-ws19ei3/

ご注意

- ●本製品および別売オプション HDD 以外のご利用はサポート対応外となります。
- ●本製品の設定には、Windows のリモートデスクトップ機能を利用しています。Mac など他のパソコンからの設定はおこなえません。上記「本製品の設定に必要な環境」の「環境②」をご用意ください。
- ●本製品は、RAID 構成により、ハードディスクの故障によるデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできますが、ウイルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。USB HDD などへのバックアップをご利用ください。

対応外付け HDD

以下の弊社 Web ページをご確認ください。

https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm

ご注意

- ●外付け HDD をはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットをおこなってください。
- ●外付け HDD は、本製品のバックアップ先としてのみ使用してください。

対応周辺機器

以下の弊社 Web ページをご確認ください。

https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/peripheral.htm

対応 UPS

以下の弊社 Web ページをご確認ください。

https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/ups.htm

UPS との電源連動方法について

出荷時設定が「自動」になっており、電源障害により本製品の電源が落ちた際でも復電後に自動で起動します。また、この場合でも元々本製品の電源が入っていない場合は起動しません。
その上で、設定を変更する場合は、以下をお試しください。

①本製品の電源投入直後より、USB キーボードの [Delete] キーを押しつづける
→ BIOS 設定画面が起動します。

②カーソルキーで [Chipset] → [PCH-IO Configuration] → [State After G3] を選び、[Enter] キーを押す

③設定値を選び、[Enter] キーを押す

Last State	前回の状態を維持します。(出荷時設定)
Always On	電源復電後、本製品が起動します。
Always Off	電源復電後、本製品は電源オフのままにします。

④ [Save & Exit] → [Save Changes and Reset] を選び、[Enter] キーを押す

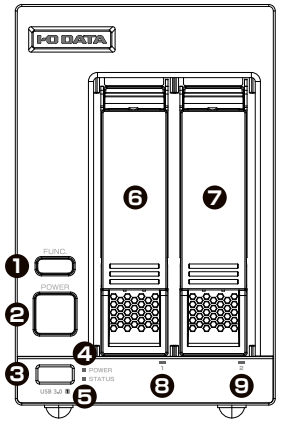
対応ソフトウェア

以下の弊社 Web ページをご確認ください。

https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/soft.htm

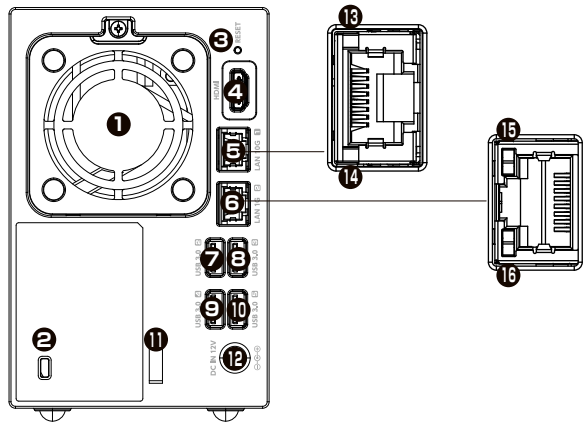
各部の名称・機能

前面



❶ FUNC. ボタン		エラー発生時にブザーが鳴り続けている時、2 秒以上押すとブザーを停止します。 また、6 秒以上押すとあらかじめ登録したプログラムを実行できます。
❷ POWER ボタン		短押し（1 秒程度）→本製品の電源を ON/OFF します。 ※電源 ON の状態で 6 秒以上押し続けると強制電源 OFF になります。 6 秒以上電源ボタンを押し続けないでください。
❸ USB ポート 1		増設用 USB ポートです。（USB 3.2 Gen1）
❹ POWER ランプ	消灯	コンセント未接続
	赤点灯	電源 OFF（コンセント接続済み）
	緑点灯	電源 ON
❺ STATUS ランプ		本製品の状態を示します。 詳しくは、【故障と思ったら…】（47 ページ）をご覧ください。
❻ディスク 1 ❼ディスク 2		カートリッジを接続します。 脱着レバーは、カートリッジを取り出す際に利用します。
❽ディスク 1 ランプ ❾ディスク 2 ランプ	青点灯	正常認識時
	青点滅	アクセス時
	赤点灯	エラー時
	消灯	未接続時

背面

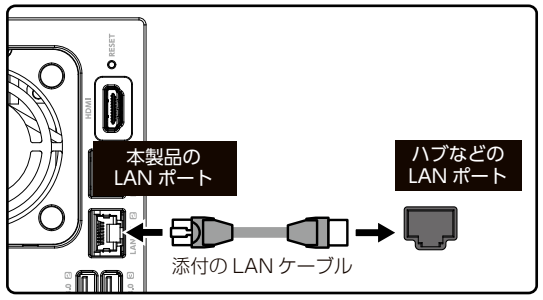


❶ FAN		冷却用 FAN です。ふさがないでください。
❷ケンジントンセキュリティスロット		盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。
❸ RESET スイッチ		使用しません。
❹ HDMI コネクター		ディスプレイを接続します。
❺ LAN ポート 1（10G）		添付の LAN ケーブルを接続します。 ※最大 10Gbps（理論値）で通信するには、ネットワークが 10GbE に対応している必要があります。LAN ケーブルについて、55m まではカテゴリー 6 で対応可能です。
❻ LAN ポート 2（1G）		添付の LAN ケーブルを接続します。
❼ USB ポート 2 ❽ USB ポート 3 ❾ USB ポート 4 ❿ USB ポート 5		増設用 USB ポートです。（USB 3.2 Gen1）
⓫ケーブルフック		AC アダプターが抜けないように引っかけるフックです。
⓬ DC-IN		添付の AC アダプターを接続します。
⓭ Link/Act ランプ（10G）	黄緑点灯	Link 中
	黄緑点滅	データを送受信中
	消灯	未接続
⓮ LAN Speed ランプ（10G）	黄緑点灯	10G
	橙点灯	5G/2.5G/1G/100M のいずれか
	消灯	未接続
⓯ Link/Act ランプ（1G）	黄緑点灯	Link 中
	黄緑点滅	データを送受信中
	消灯	未接続
⓰ LAN Speed ランプ（1G）	黄点灯	1G
	消灯	100M/10M/ 未接続のいずれか

導入する

ステップ 1　設置する

1 添付の LAN ケーブルを本製品とハブにつなぐ



10G LAN ポート

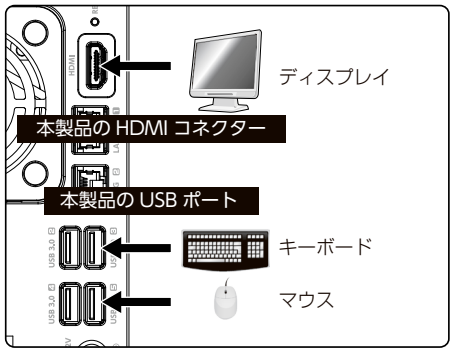
カテゴリー 6A の LAN ケーブルで接続すると最大 10Gbps（理論値）で通信することができます。

※最大 10Gbps（理論値）で通信するには、ネットワークが 10GbE に対応している必要があります。

ご注意

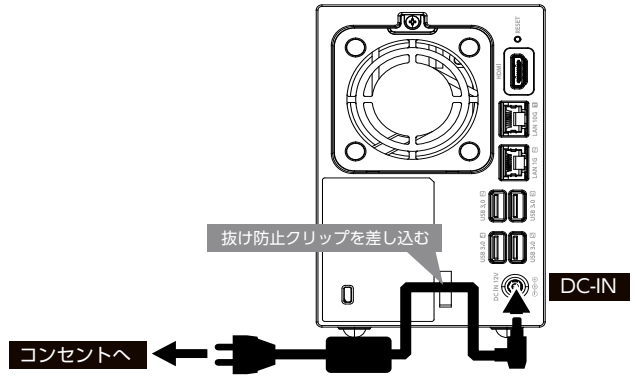
●必ず、LAN ケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

2 ① HDMI コネクターにディスプレイをつなぐ
② USB ポートにキーボード、マウスをつなぐ



3 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ

※ケーブルフックに引っかけます。



添付の AC アダプターと電源コード

4 前面の電源ボタンを押す

電源を切る場合

●動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、次ページをご覧ください。

5



① [admin] を入力

② [→] をクリック

※初回起動時は自動でログオンされます。

パスワードを変更してください

●セキュリティのため、パスワードは変更してください。
（【困った時には】（33 ページ）参照）

これで完了です。

本製品の電源を切る場合

ご注意

本製品が稼働中に、電源ケーブルを強制的に抜いたり、または POWER ボタンを 3 秒以上長押ししないでください。
本製品の電源が強制的に切れた場合、次回起動時に RAID の再構築が開始されます。再構築が完了するまでの 1 時間は端末の動作が遅くなりますが、再構築中は電源を切らないでください。
（再構築が完了すると、STATUS ランプが点滅から点灯に変わります）

方法①
Windows のスタートメニューを右クリックし［シャットダウンまたはサインアウト］→［シャットダウン］をクリックします。

方法②
本体前面の POWER ボタンを約 1 秒押して離す。
（3 秒以上の長押しはしないでください）
→シャットダウンが始まるとブザーが“ピッ”と鳴ります。

ステップ 2　NarSuS に登録する

NarSuS（ナーサス）とは？
NarSuS は、24 時間 365 日、お客様の NAS を見守る安心サービスです。
万一トラブルが発生しても、自動的にメールでトラブルをお知らせします。
本製品に接続された UPS や外付け HDD の見守りもおこなえます。
詳しくは以下の URL から、NarSuS ヘルプをご確認ください。
https://www.iodata.jp/lib/manual/narsus_help_lib/index.html

ご注意

- ●本機能は、IPv4 ネットワークでのみ使用できます。
- ● Internet Explorer でご利用の場合、あらかじめ "https://www.narsus.jp" を [インターネットオプション] →[セキュリティ] から [信頼済みサイト] に登録しておいてください。

1　※本製品へのログオンに成功したら、以下のような画面が表示されます。

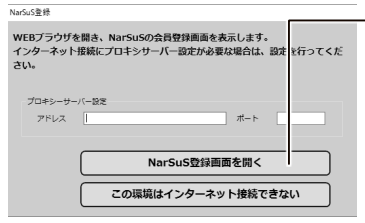


● NarSuS に LAN DISK を登録したことがない場合
［NarSuS にはじめて登録（無料）］をクリック

●すでに他の LAN DISK を登録している場合
［NarSuS に製品を追加登録］をクリック

※ NarSuS 登録をしてから、本製品の設定をおこなってください。

2

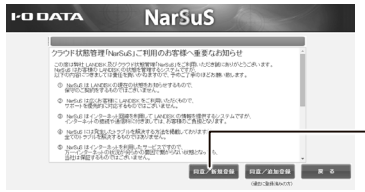


［NarSuS 登録画面を開く ］をクリック

[プロキシサーバー設定]
インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、ご利用のネットワーク管理者に設定等をご確認ください。

インターネットに接続できない場合
【インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する】（18 ページ）をご覧ください。

3



内容を確認し、
[同意 / 新規登録] をクリック

追加で登録する場合



①登録済みの [ID]、[パスワード] を入力

② [ログイン] をクリック



③ [同意／追加登録] をクリック

このあと、手順４へお進みください。

4　画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

※ LAN ポートが複数ある LAN DISK の場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

5　登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じる

登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。
以上で NarSuS 登録は完了です。

ご注意

●登録に失敗した場合、以下をご確認ください。

・本製品がインターネットに接続可能な環境に設置されていること（LAN ケーブルが正しく接続されていること）
・プロキシを介してインターネットへ接続する場合は、プロキシが正しく設定されていること
・本製品の TCP/IP 設定を手動でおこなっている場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーが正しく設定されていること
・お使いの Web ブラウザーのキャッシュ（Cookie）をクリアして再度お試しください。

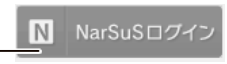
NarSuS へのログイン方法

方法１　以下 URL にアクセスしてください。
https://www.narsus.jp/

方法２　①タスクトレイのアイコンをクリック



②NarSuS 設定画面右上の
[NarSuS ログイン] ボタンをクリック



NarSuS 設定画面



NarSuS リモート設定		通常は［OFF］にしてご利用ください。 ※アイオー保守パートナー様向けの拡張機能です。 本製品のファームウェアバージョンアップなど、 定期的なメンテナンスをリモート操作で実施可能になります。
NarSuS 設定		プロキシの設定が必要な場合、［プロキシサーバー］にチェックをつけ、 プロキシサーバーの［アドレス］と［ポート］を入力します。 ※設定内容については、 ご利用のネットワーク管理者に確認してください。 ※［認証用プロキシ設定］をクリックすると、 認証用の［ユーザー名］［パスワード］を設定できます。
アップデート設定	自動アップデート設定	NarSuSアプリやNarSuSのイベント通知の定義ファイルが更新された場合の、 自動アップデートについて設定します。 自動アップデートする場合は、 実行する曜日、時刻を設定できます。 ※出荷時には、自動アップデートは有効になっています。
	プログラム手動更新	クリックすると、 本NarSuSアプリを更新します。
	定義ファイル手動更新	クリックすると、 NarSuSのイベント通知の定義ファイルを更新します。

※アップデート時に再起動する場合があります。 ご注意ください。
※本設定は、 管理ソフト「ZWS Manager」のアップデートも対象です。

利用コードの確認

設定によっては、利用コードを求められます。
NarSuS の Web ページにログインし、本製品を選んだ後、［製品詳細登録］をクリックして、利用コードを確認してください。

NarSuS の利用方法

NarSuS へログイン後、
[NarSuS のヘルプ] をクリック

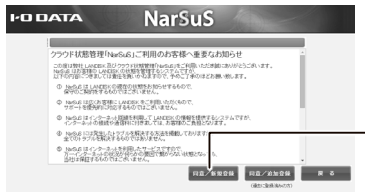


スマートフォンからは、以下の QR コードを読み込むと閲覧できます。

インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する

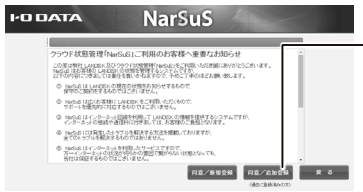
1 インターネットに接続できるパソコンから、次の URL にアクセスする
https://www.narsus.jp/user-reg

2



内容を確認し、
[同意 / 新規登録] をクリック

追加で登録する場合



① [同意 / 追加登録] をクリック



②登録済みの [ID]、[パスワード] を入力

③ [ログイン] をクリック

このあと、手順３へお進みください。

3 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する
※ LAN ポートが複数ある LAN DISK の場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

4

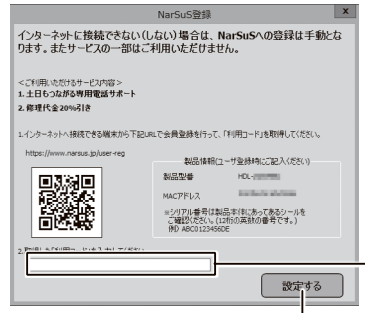


登録完了画面に表示された
「ご利用コード」をメモする

※登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。

5 本製品にログオンする

6



①メモした [ご利用コード] を入力

② [設定する] をクリック

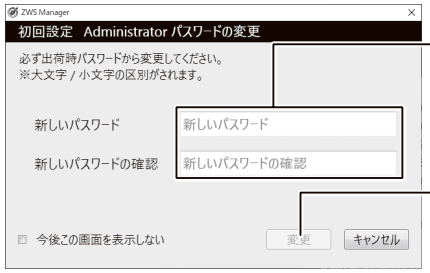
以上で NarSuS 登録は完了です。

ステップ３　初期設定

初回起動時におこなう設定です。
※初回起動時は自動でログオンされ、デスクトップ画面が表示されます。

1 本製品に設定する以下の項目を確認する
※設置場所のネットワークによります。
- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- DNS サーバー

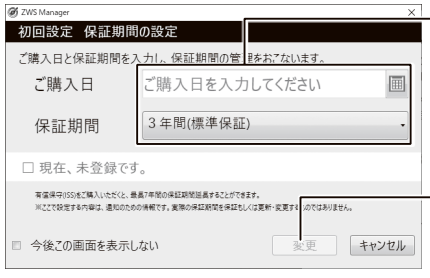
2



①新しいパスワードを入力

②［変更］をクリック
※再度変更する場合は、【困った時には】（33 ページ）参照

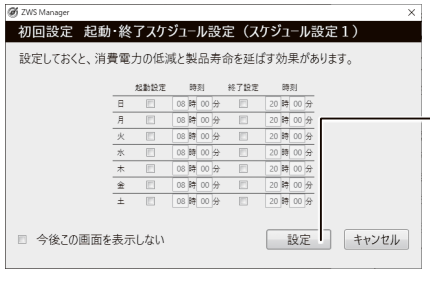
3



①ご購入日と保証期間を選ぶ

②［変更］をクリック

4



スケジュール設定をして
［設定］をクリック

【日時・時刻設定を確認する】（21 ページ）へお進みください。

SNMP を利用する場合
C:¥I-O DATA フォルダーに設定のためのツールと設定方法を記載したファイルが格納されています。
SNMP 設定をおこなう場合は、C:¥I-O DATA フォルダーを参照してください。

日時・時刻設定を確認する

1



①タスクトレイの時刻をクリック

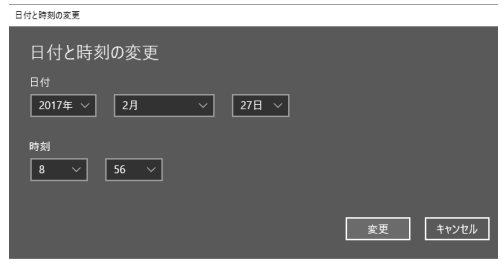
②［日付と時刻の設定］をクリック

2



［時刻を自動的に設定する］を［オン］にする

本製品がインターネットに接続しない場合
●本製品がインターネットに接続されていない場合は、［日付と時刻を変更する］の［変更］から正確な時刻を設定してください。



以上で、設定は完了です。

IP アドレスを確認する

1 [サーバーマネージャー] を開く

2



① [ローカルサーバー] をクリック

② [イーサネット] 横のリンクをクリック

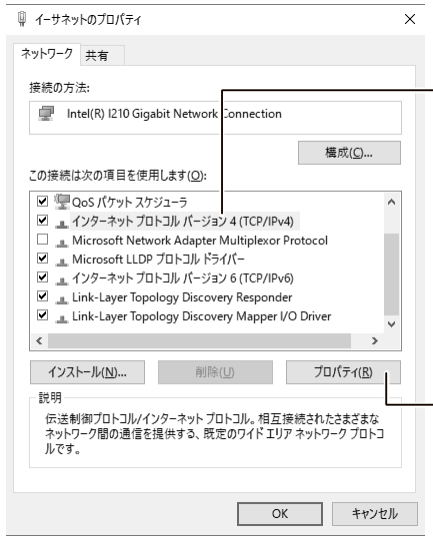
3



①設定するイーサネットを右クリック

② [プロパティ] をクリック

4

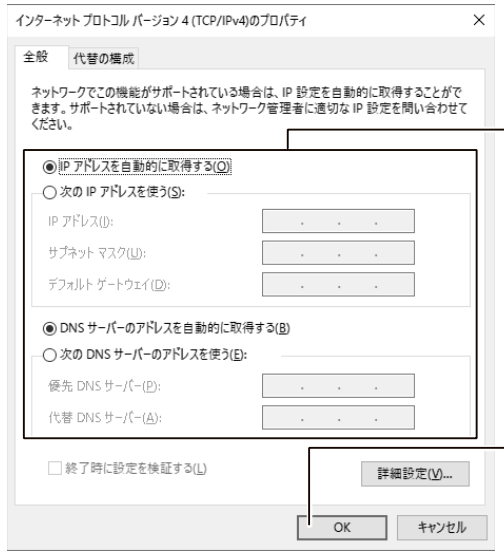


① [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] を選ぶ

※ IPv6 設定をおこなう場合は、[インターネットプロトコルバージョン 6(TCP/IPv6)] を選びます。

② [プロパティ] をクリック

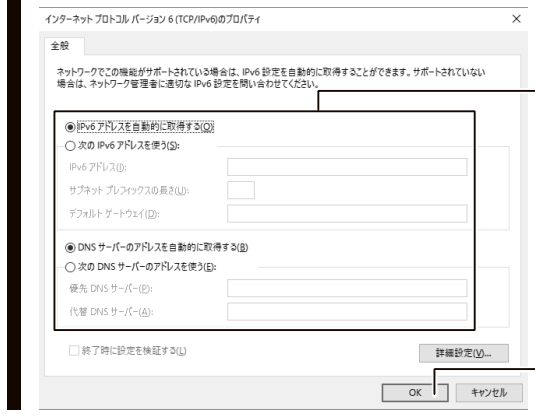
5



① IP アドレスを設定する

② [OK] をクリック

IPv6 の場合



① IP アドレスを設定する

② [OK] をクリック

以上で、設定は完了です。

Windows Update を実行する

Windows Update では、本製品にインストールされている OS の既知の脆弱性に対する最新のセキュリティパッチがインストールされます。
必ずはじめにおこなってください。

ご注意

●本手順は、本製品がインターネットにアクセスできる環境にある必要があります。

1 [サーバーマネージャー] を開く

2



① [ローカルサーバー] をクリック

② [Windows Update] 横のリンクをクリック

3



更新がある場合は、[更新プログラムのチェック] をクリック

更新プログラムのダウンロード、インストールが実行されますのでしばらくお待ちください。

以上で、初期設定は完了です。

機能について詳しくはヘルプをご覧ください

本書に記載のない機能など詳しくは、[スタート] → [ヘルプとサポート] をご覧ください。

ステップ４　ライセンス認証

Windows のライセンス認証をおこないます。
※この操作は、インターネット接続が必要です。

1 [スタート] メニューから [設定] をクリックして、[更新とセキュリティ] をクリック

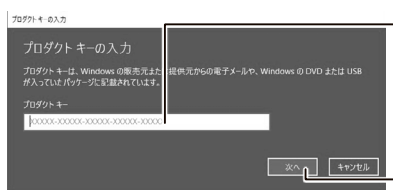
2



① [ライセンス認証] をクリック

② [プロダクトキーの変更] をクリック

3



①プロダクトキーを入力

※プロダクトキーは本製品に貼付しております。
一部スクラッチシールで隠れていますので、コイン等で剥がしてご確認下さい。

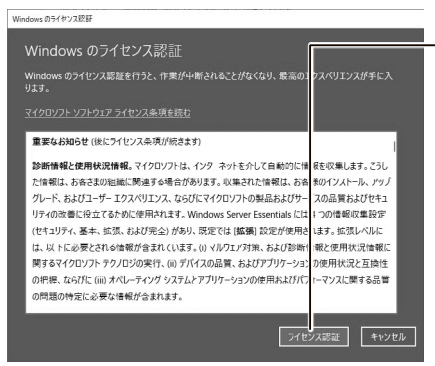
②［次へ］をクリック

4



［ライセンス認証］をクリック

5



［ライセンス認証］をクリック

ライセンス認証がおこなわれます。

ステップ５　Active Directory の設定

ActiveDirectory ドメインサーバー設定をおこないます。
※本設定は必須です。未設定のまま一定の時間が経過すると本製品はシャットダウンされます。

1 [スタート] ボタンをクリックし [サーバーマネージャー] をクリック

2



①ダッシュボード左上の通知アイコンをクリック

②［このサーバーをドメイン コントローラに昇格する］をクリック

3



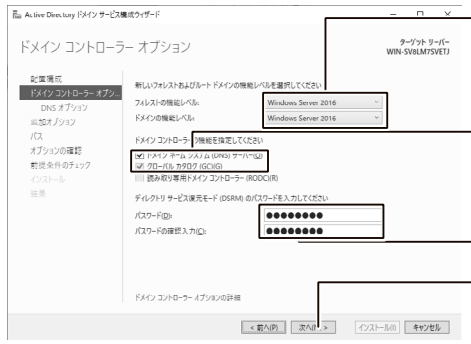
① [新しいフォレストを追加する] をクリック

② [ルートドメイン名] を入力

③ [次へ] をクリック

※ [既存のドメインにドメインコントローラーを追加する] と [新しいドメインを既存のフォレストに追加する] は、ライセンスの都合上選ぶことはできません。[ルートドメイン] では、取得済みの自社ドメイン名を登録して、それに内部 DNS 用のサブドメインをつけます。

4



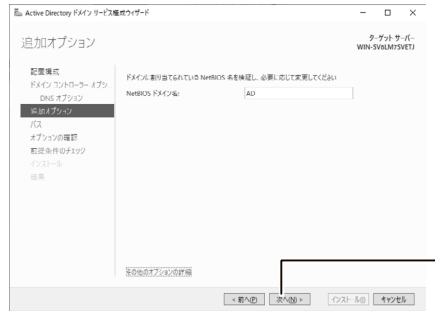
①［フォレストの機能レベル］と［ドメインの機能レベル］では共に［Windows Server 2016］を選ぶ

②［ドメインネームシステム (DNS) サーバー］と［グローバルカタログ］にチェックを付ける

③パスワードを入力する（2 か所）

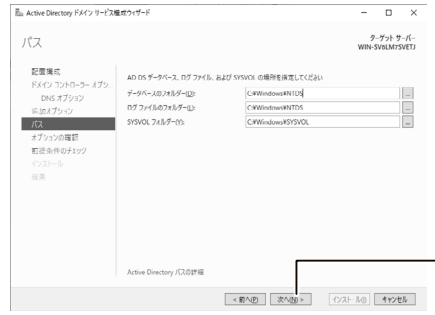
④［次へ］をクリック

5



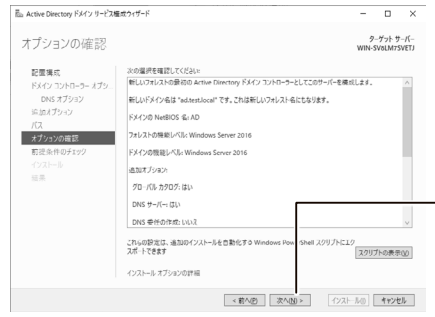
[NetBIOS ドメイン名] を確認し、[次へ] をクリック

6



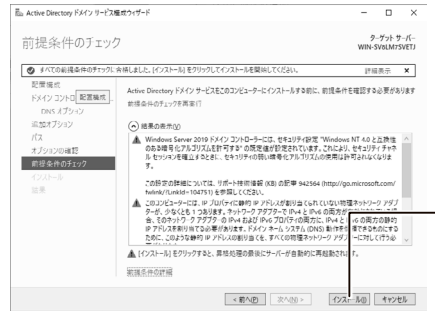
[次へ] をクリック

7



[次へ] をクリック
→検証をおこないます。しばらくお待ちください。

8



[インストール] をクリック
→インストールを開始します。再起動するまでしばらくお待ちください。

これで設定は完了です。
本製品が再起動したら、サインイン画面で本手順で入力したドメインとなっていることを確認したうえで、[パスワード] を入力しサインインします。
［サーバーマネージャー］→［ダッシュボード］の［役割とサーバーグループ］で、［AD DS］と［DNS］が追加されていることを確認します。

管理ソフト「ZWS Manager」

ZWS Manager は本製品の RAID 管理、温度管理、その他設定をおこなう管理ソフトです。
ZWS Manager は本製品の起動と同時に自動的に起動します。
初期状態はタスクトレイ上に表示されています。

ご注意

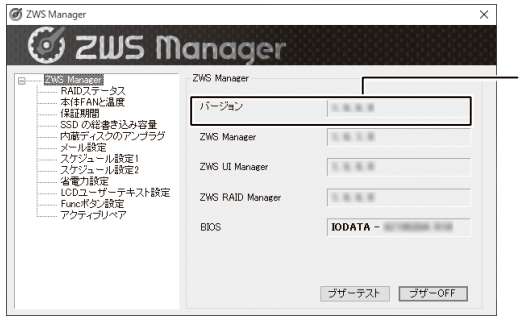
● ZWS Manager は、Administrator の権限のユーザーでログオンした場合のみ起動できます。

ZWS Manager メイン画面の表示方法



タスクトレイのアイコンをクリック

ZWS Manager のメイン画面が表示されます。
画面左側が項目、右側が詳細情報ビューです。



ZWS Manager のバージョンは、［バージョン］をご確認ください。

ZWS Manager のアップデートについて

ZWS Manager は自動アップデートに対応しております。
自動アップデートの設定は NarSuS アプリでおこないます。詳しくは、【NarSuS 設定画面】（17 ページ）をご覧ください。

ZWS Manager ヘルプ

ZWS Manager については、ZWS Manager ヘルプでご確認ください。
https://www.iodata.jp/lib/manual/zwsmanager/

スマートフォンなどでも閲覧できます。⇒

RAID 設定

本製品で設定できる RAID モード

RAID 1（出荷時設定）	すべてのハードディスクに同じデータを同時に書き込むため、万一、一方のハードディスクが故障してもデータは安全に保護されます。
RAID 0	すべてのディスクを 1 つのボリュームとして認識します。 データ保護機能はありませんが、大容量と高速性を追求したモードです。
マルチディスク	すべてのディスクを別々に認識します。 設定方法は、次ページをご覧ください。

RAID モードを変更する場合

ご注意

●作業前に、データをバックアップしてください。RAID モード変更時にデータは消去されます。
●本製品のシステム領域の RAID モードは変更できません。

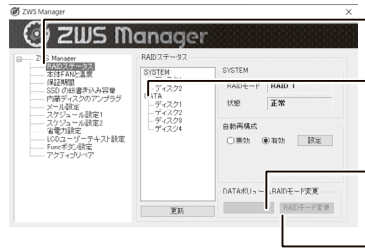
本製品にインストール済みの「ZWS Manager」で設定します。

1



タスクトレイの [ZWS Manager] アイコンをクリック

2



① [RAID ステータス] をクリック
② [DATA] をクリック
③変更する RAID モードを選ぶ
④ [RAID モード変更] をクリック

選択した [RAID モード] への変更を開始します。[状態] が再構築中になります。
※ RAID 1 へ構築した場合、1TB HDD 搭載モデルで約 3 時間かかります。

これで RAID モードの変更は完了です。

マルチディスクに変更する場合

ご注意

● RAID モードからマルチディスクモード、または、マルチディスクモードから RAID モードに変更する際には、以下にご注意ください。
・すべての保存されていたデータ、設定情報が消去されます。必要なデータや設定情報は、必ずバックアップしてから切り替えてください。
・Windows システムのみ復元します。他のアプリケーション類は復元しません。

ステップ1　準備する

①次の機材を用意します。
・HDMI ディスプレイ
・USB キーボード、USB マウス
・添付のリカバリー USB メモリー

②本製品の電源を OFF にしてから、以下の機材を本製品に接続します。
以下の機器以外は接続しないでください。
・HDMI ディスプレイを背面の HDMI コネクターに接続する
・USB キーボード、USB マウスを背面の USB ポートに接続する
・リカバリー USB メモリーを前面の USB ポートに接続する

次に【ステップ2】（次ページ）へお進みください。

ステップ2　マルチディスクに設定する

1 前面の USB ポートにリカバリー USB メモリーをセットし、本製品の電源を入れる
リカバリープログラムが起動します。

エラーでリカバリーできない場合、リカバリープログラムが起動しない場合
● BIOS 設定の変更が必要な場合があります。
以下の手順で BIOS 設定を変更してください。
①本製品の電源投入直後より、[F2] キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動する
②カーソルキーで [Boot] を選ぶ
③カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す
④ [USB Device N: XXX] を選び、Enter キーを押す
（N はスロット番号、XXX は USB メモリーのメーカー名とモデル名）
⑤カーソルキーで［Save & Exit］→［Save Changes and Exit］→［YES］を選び、Enter キーを押す
以上で BIOS 設定は変更されました。上記の手順 1 より再度実行してください。

2 キーボードの 2 を入力し [Enter] キーを押す
（「2 - マルチディスクモードでリカバリー」を選択します。）
※その他の選択については、【システムリカバリーする】（46 ページ）をご覧ください。

3 「本当にリカバリーを実行してよろしいですか？ (yes/no)」で、[yes] と入力して、[Enter] キーを押す
リカバリーが開始されます。システムのリカバリーには 15 分～ 30 分程度必要です。

「リカバリーが正常に完了しました。リカバリー USB メモリーを抜いてください。
何かキーを押すと再起動します。」と表示されたら、リカバリー USB メモリーを本製品から取り外し、何かキーを押します。
再起動完了後、本製品はマルチディスクモードになっています。
マルチディスクモードの起動直後は、次のようなディスク構成となっています。

ディスク 1	起動用パーティション	システムパーティション	データパーティション
ディスク 2	データパーティション		

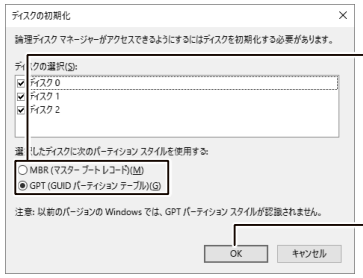
※起動用パーティションがディスク 1 になった場合の例

マルチディスク設定直後は、データパーティションが「未割り当て」となっているため、フォーマットをおこないます。
【ステップ3】（次ページ）へお進みください。

ステップ3　ディスクを初期化する

1 画面の左下にマウスポインターを移動させ、右クリックして表示されたメニューの［ディスクの管理］をクリック

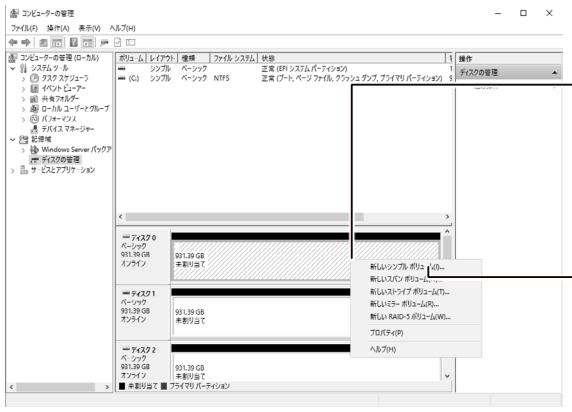
2



①パーティションスタイルを選ぶ

② [OK] をクリック

3

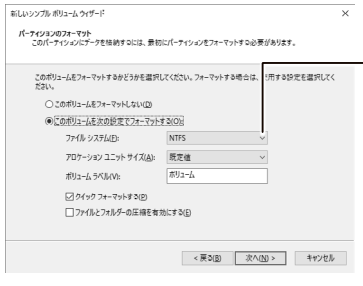


①データパーティションを右クリック

※データパーティションは、「未割り当て」と表示されます。

②［新しいシンプルボリューム］をクリック

4 シンプルボリュームウィザードが表示されるため、画面の指示にしたがって進める



ファイルシステムでは、[NTFS] を選ぶ

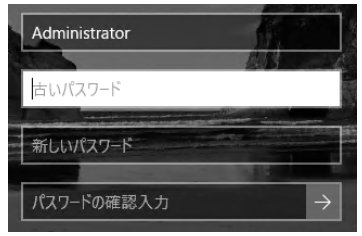
以降は画面の指示にしたがってください。

上記手順で、すべてのドライブの未割り当て領域を NTFS フォーマットすると、それぞれのドライブを独立して管理できるようになります。

困った時には

Administrator のパスワードを再変更したい

初期設定時にパスワードの変更ができますが、再度変更したい場合は以下の手順にしたがってください。
① Administrator でログオンする
②キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[End] キーを押す
※本製品にキーボード等を接続している場合は、キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[Delete] キーを押す
③［パスワードの変更］をクリック
④パスワードを設定する



出荷時設定
出荷時のパスワードは「admin」です。
Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します。

その他、困った時には

I-O DATA サポート Web ページをご確認ください。

https://www.iodata.jp/support/qa/landisk/hdl-z.htm

バックアップと回復

バックアップと回復

万一に備えて定期的にバックアップすることをおすすめします。
ここでは、Windows 標準の Windows Server バックアップ機能を利用した方法を説明しています。
バックアップ先に利用できる対応 HDD は、【対応外付け HDD】（8 ページ）をご覧ください。

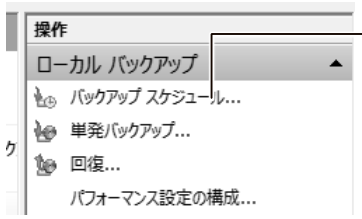
ご注意

●バックアップを実行する際に、USB HDD のフォーマットをおこないます。
事前に、必要なデータは他のドライブにコピーするなどバックアップしてください。

バックアップのスケジュール設定をする

1 [サーバーマネージャー] を開き、[ツール] → [Windows Server バックアップ] → ［ローカルバックアップ］ をクリック

2



画面右側の
[バックアップスケジュール] を
クリック

3



①バックアップ構成を選ぶ
※［サーバー全体］を選んだ場合は、手順６へお進みください。

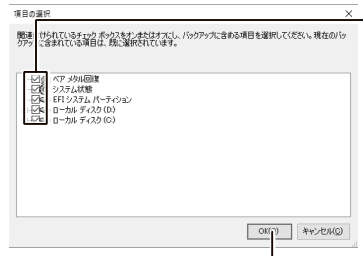
② [次へ] をクリック

4



[項目の追加] をクリック

5



①バックアップ項目を選ぶ
※次の項目を選びます。
[ベアメタル回復]、[システム状態]、
[EFI システムパーティション]、
[ローカルディスク C]、
[ローカルディスク D]（バックアップするフォルダーのみ）

② [OK] をクリック

6



内容を確認し、
[次へ] をクリック

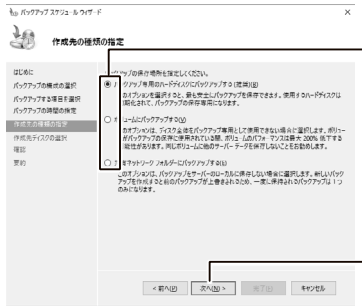
7



①バックアップ時刻と頻度を設定

② [次へ] をクリック

8



①バックアップの保存先の種類を選ぶ

②［次へ］をクリック

9



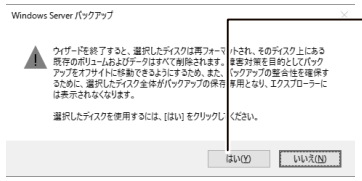
①バックアップの保存先を選ぶ

ご注意

●バックアップ先の HDD はフォーマットされます。必要なデータは、事前にバックアップしてください。

②［次へ］をクリック

10



内容を確認し、
［はい］をクリック

※外付けハードディスクはバックアップの保存専用となり、エクスプローラーには表示されなくなります。

11



内容を確認し、
［完了］をクリック

バックアップ先の HDD がフォーマットされ、バックアップスケジュールが作成されます。

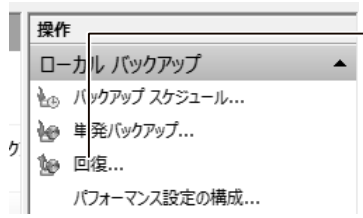
以上で設定は完了です。［閉じる］をクリックしてください。

バックアップデータから回復する

バックアップしたファイルおよびフォルダーを、本製品へ回復する方法を説明します。
バックアップデータからリカバリーする場合は、【バックアップデータから復元する】（51 ページ）以降をご覧ください。

1 ［サーバーマネージャー］を開き、［ツール］→［Windows Server バックアップ］→［ローカルバックアップ］をクリック

2



画面右側の［回復］をクリック

3



①バックアップデータの場所を選ぶ

②［次へ］をクリック

4



①バックアップの場所の種類を選ぶ

②［次へ］をクリック

5



①バックアップの場所を選ぶ

②[次へ] をクリック

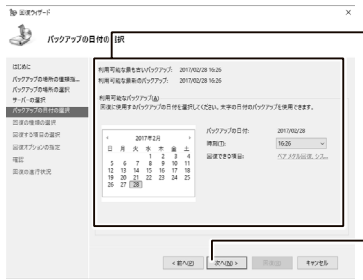
6



①復元するサーバー名を選ぶ

②[次へ] をクリック

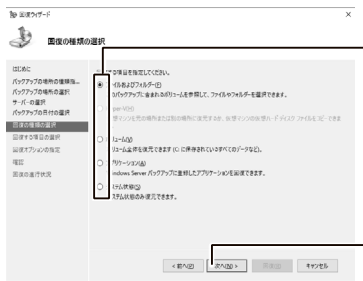
7



①回復に使うバックアップデータの時刻を選ぶ

②[次へ] をクリック

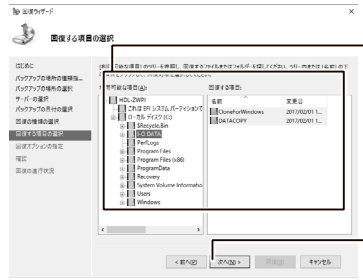
8



①バックアップの保存先の種類を選ぶ

②[次へ] をクリック

9



①回復項目を選ぶ

②[次へ] をクリック

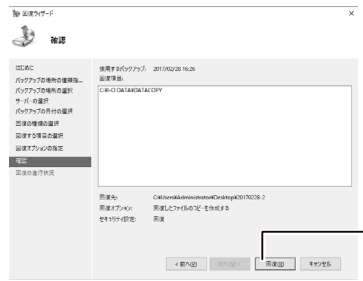
10



①回復オプションを選ぶ

②[次へ] をクリック

11



内容を確認し、
[回復] をクリック

完了すると、ウィザード内の [状態] へ完了のメッセージが表示されます。
[閉じる] をクリックし、復元されたファイルまたはフォルダーを確認してください。

ディスクとボリュームの活用

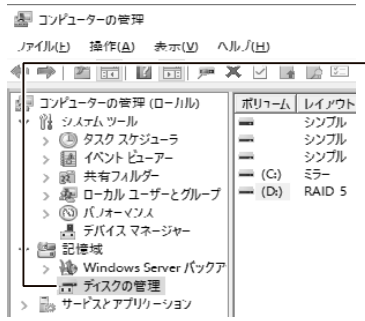
フォーマット

ご注意

●フォーマットを実行すると、ディスク内のデータはすべて消去されます。必要なデータがある場合は、フォーマットする前に必ずバックアップしてください。

1 [サーバーマネージャー] を開き、
[ツール] → [コンピューターの管理] をクリック

2



[ディスクの管理] をクリック

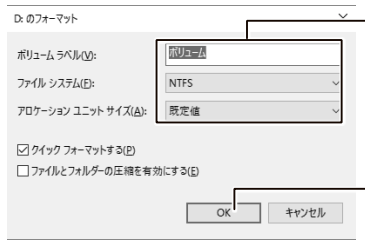
3



①フォーマットするボリュームを右クリック

②[フォーマット] をクリック

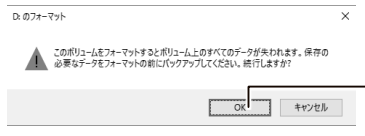
4



①必要に応じて変更

② [OK] をクリック

5



[OK] をクリック

フォーマットを開始します。

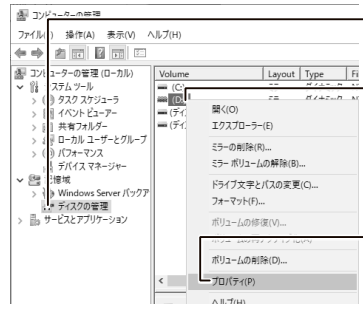
シャドウコピー設定

シャドウコピーは、ファイルが使用中かどうかに関わらず、その状態のコピーを作成する機能です。シャドウコピーしたデータを利用してファイルの復元などをおこなうことができます。

シャドウコピーを設定する

1 [サーバーマネージャー] を開き、[ツール] → [コンピューターの管理] をクリック

2

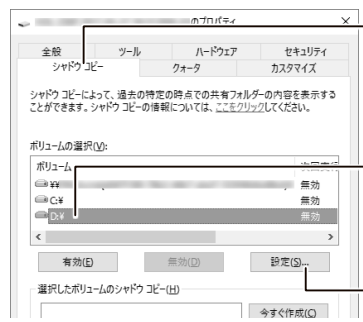


① [ディスクの管理] をクリック

②シャドウコピーを作成するボリュームを右クリック

③ [プロパティ] をクリック

3

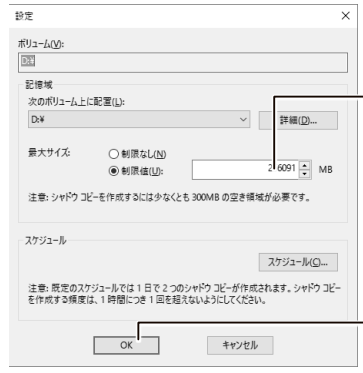


① [シャドウコピー] をクリック

②シャドウコピー設定するボリュームを選ぶ

③ [設定] をクリック

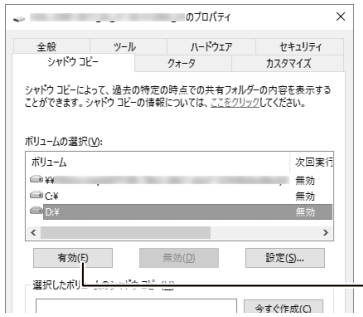
4



①シャドウコピーの最大サイズを設定

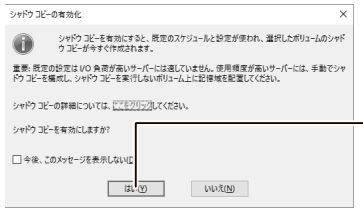
② [OK] をクリック

5



[有効] をクリック

6



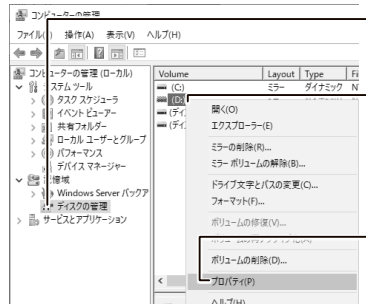
[はい] をクリック

以上で設定は完了です。

シャドウコピーから復元する

1 [サーバーマネージャー] を開き、[ツール] → [コンピューターの管理] をクリック

2

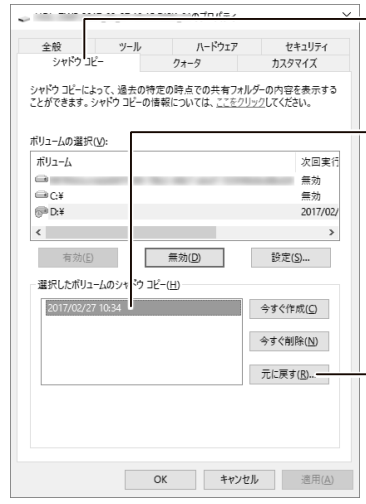


① [ディスクの管理] をクリック

②復元するボリュームを右クリック

③ [プロパティ] をクリック

3



① [シャドウコピー] をクリック

②復元する日時を選ぶ

③ [元に戻す] をクリック

ご注意

- ●復元すると、選択した日時より後におこなわれたシャドウコピーはすべて削除されます。
- ●復元を開始後は、途中でキャンセルできません。

4



① [このボリュームを元に…] にチェック

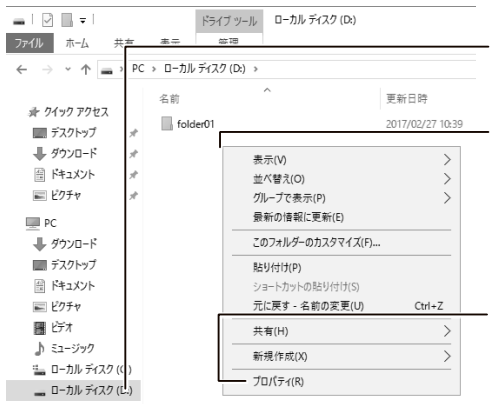
② [今すぐ元に戻す] をクリック

以上で復元は完了です。

ファイル単位で復元する

1 をクリック

2

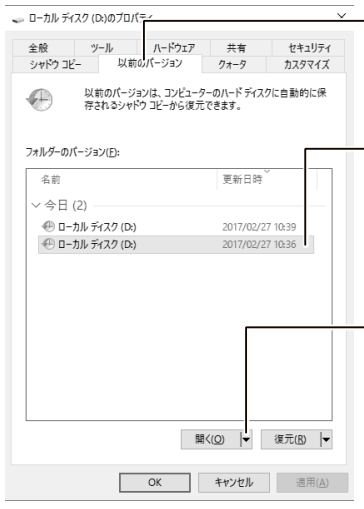


①復元するファイルがある
ドライブを開く

②空白部分を右クリック

③［プロパティ］をクリック

3



①［以前のバージョン］を
クリック

②復元するファイルが含まれたバージョンを選ぶ

③［開く］をクリック

フォルダーが開きますので、ファイルをコピー＆ペーストすると復元できます。

ネットワークの二重化

NIC チーミング

NIC チーミングでは、複数のネットワークインターフェイスを束ねて帯域を拡大したり、ネットワークインターフェイスの片方に障害が発生した場合でもサービスを停止しないストレージを構築できます。

1 [サーバーマネージャー] を開く

2



① [ローカルサーバー] を
クリック

② NIC チーミング横の [無効] をクリック

3



[チーム] 欄の
[タスク] → [チームの新規作成]
をクリック

4



①チーム名を入力

②チームに所属するアダプターを
選択

③ [OK] をクリック

NIC チーミングに登録したチーム名が表示され、状態が [OK] に変わったら完了です。（OK に変わるまで数分かかる場合があります。）

ウイルススキャン

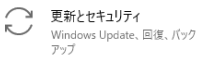
Windows セキュリティ

Windows 標準のセキュリティ機能「Windows セキュリティ」を使用してスキャンします。出荷時設定で、リアルタイムスキャンが有効になっています。
手動でスキャンする場合は、以下の方法でおこなってください。

1

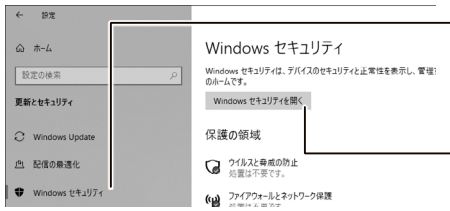


① ［スタート］→［設定］をクリック



② ［更新とセキュリティ］をクリック

2



① [Windows セキュリティ] をクリック

② ［Windows セキュリティを開く］をクリック

3



ウイルスと脅威の防止
操作は不要です。

［ウイルスと脅威の防止］をクリック

4



［クイックスキャン］をクリック

スキャンのオプション
［スキャンのオプション］では、スキャン方法を変更することができます。

クイックスキャン	コンピューターの重要な部分のみをスキャンします。［フル］より短時間で完了します。
フルスキャン	コンピューターのすべてのファイルをスキャンします。
カスタムスキャン	場所を選んでスキャンします。

スキャンが開始されます。

故障時の対応

故障と思ったら…

故障したカートリッジのディスクランプは赤点灯します。
本製品の各ディスクランプをご確認の上、カートリッジを交換してください。

カテゴリ	STATUS	ディスク	ブザー※	動作内容	対処
通常稼動時	緑点灯	緑点灯	なし	通常稼働	–
RAID 再構築	緑点滅	緑点滅	ピロッ	RAID 再構築中のとき	RAIDを再構築中です。再構築が完了するまでカートリッジの抜き差しを行わないでください。
エラー	赤点滅	該当ディスク赤点灯	ピッピッ、ピッピッ…	デグレード発生時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。
	赤点滅	全ディスク赤点灯	ピーポー、ピーポー…	RAID 崩壊時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。ボリュームに対してチェックディスクを実行し、ファイルシステムに問題がないことを確認してください。ログ・メールより構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。ボリュームにアクセスできなくなった場合は、ボリュームを再構築してください。
	赤点灯	全ディスク赤点灯	なし	起動ディスクがない時	起動ディスクが接続されていません。カートリッジが正常に接続されていることを確認してください。
	赤点灯	緑点灯	なし	温度異常の時	設置環境を確認し、FANからの排熱が逃げ易い環境であることを確認してください。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたらFANが正常に稼動していることを確認してください。
ボリューム不正	緑点滅	緑点滅	ピー、ピー、ピー…	ボリューム不正時	ボリュームの状態が製品として想定外の不正な状態になっています。例えば、内蔵ディスクにCドライブ、Dドライブ以外のボリュームが設定されている場合などに本状態となります。原因がご不明な場合は弊社サポートセンターにお問合せください。

※ RAID 状態に変化があったときにブザーが鳴ります。ブザー音が鳴った場合、Func ボタンを押す、または、ZWS Manager 上で［ブザー OFF］をクリックするとブザーが停止します。

オプションディスク

弊社製 HDLZ-OPA シリーズ

※詳細な情報は、以下の弊社ホームページをご確認ください。
https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm

ご注意
●オプションディスクには、システムはインストールされていません。
●本製品の容量を後から増やすことはできません。

カートリッジの交換方法

ご注意

- RAID 崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。
- カートリッジは、故障時以外には取り外さないでください。不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID 崩壊しすべてのデータを失い、修復不能な状態になる場合があります。
- 一度に取り外しできるカートリッジは、1 台のみです。
  2 台以上を取り外すと RAID 崩壊し、保存されているデータを失うことがあります。
- マルチディスクの場合、ZWS Manager ではアンプラグできません。
  タスクトレイの取り外しアイコンから取り外すか、本製品の電源を切ってから交換してください。
  【[ステップ 2] カートリッジを入れ替える】（49 ページ）

【重要】ディスク 1 を交換した場合は、必ず以下の手順にしたがってください

次の手順で設定をおこなわないと、起動しないなどのトラブルになるおそれがあります。必ず以下の手順にしたがってください。

①本製品の電源を切り、本製品にディスプレイ、マウス / キーボードを直接つなぐ
②本製品の電源を入れ、起動メニューで［セカンダリ］を選択する
③ [コントロールパネル] から [システム] → [システムの詳細設定] を開く
④ [詳細設定] タブの「起動と回復」の [設定] をクリック
⑤「既定のオペレーティングシステム」で、［セカンダリ］を選択し設定する

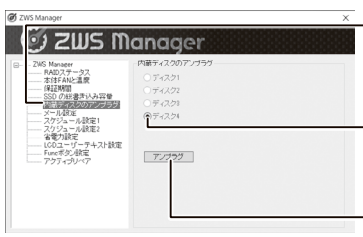
[ステップ 1] 内蔵ディスクアンプラグ

ご注意

- マルチディスクの場合、ZWS Manager ではアンプラグできません。
  タスクトレイの取り外しアイコンから取り外すか、本製品の電源を切ってから交換してください。
  交換方法は手順６（次ページ）を参照してください。

1 タスクトレイのアイコンから、ZWS Manager を起動する

2



① ［内蔵ディスクのアンプラグ] をクリック

②故障した番号を選択
※故障時ディスクランプは赤点灯します。

③ [アンプラグ] をクリック

「アンプラグに失敗しました」と表示された
[アンプラグ] 処理ができていません。本製品の電源を切り、【[ステップ 2] カートリッジを入れ替える】（49 ページ）をご覧ください。

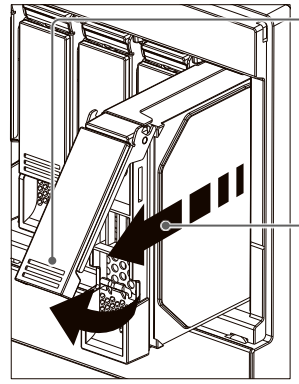
次に、故障したカートリッジを外します。次ページへお進みください。

[ステップ 2] カートリッジを入れ替える

ご注意

- 入れ替えるカートリッジは、以下に記載の交換用カートリッジをお使いください。
  【オプションディスク】（47 ページ）

1

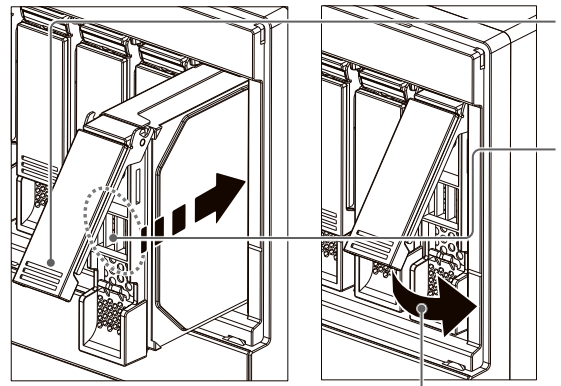


①取り外すカートリッジの着脱レバーを上げる

②カートリッジを手前に引いて取り出す

2 本製品の電源が入っていない場合は、電源を入れる

3



①取り付けるカートリッジの着脱レバーを固定されるまで上げる

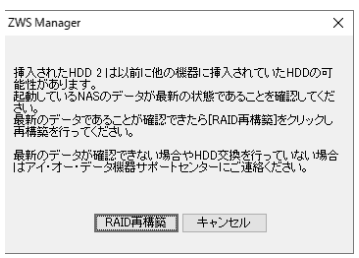
②○ を押しカートリッジをスロットの奥まで挿入する

必要以上の力を加えない
カートリッジを押しこむ際は、必要以上の力を加えないでください。故障の原因となります。

③着脱レバーが“カチッ”となるまで下ろす

以上で、カートリッジの交換は完了です。

以上で交換は終了です。
取り付け完了後、ZWS Manager の [自動再構成] が [有効] に設定されている場合は、右の確認画面が表示されます。画面の指示にしたがって RAID 再構築をおこなってください。



マルチディスクモード時は、交換したカートリッジを初期化する必要があります。（【ステップ３　ディスクを初期化する】（32 ページ）参照）

システムリカバリーする

添付の「Windows Server 2019 Essentials インストール DVD」を利用して、本製品のシステムリカバリーをおこないます。

準備する

事前に次の機材を用意します。
・HDMI ディスプレイ
・USB キーボード、USB マウス
・USB DVD ドライブ（USB 2.0 対応のもの）

OS を再インストールする（出荷時設定に戻す）場合

本製品に OS を再インストール（出荷時設定に戻す）場合は、下記弊社 Web ページで、【OS 再インストール方法（出荷時設定に戻す）】（PDF）の手順にしたがってください。

▼サポートライブラリ
https://www.iodata.jp/p/244317

バックアップデータから復元する場合

USB HDD などにバックアップデータがある場合は、バックアップデータから復元することができます。
【バックアップデータから復元する】（51 ページ）をご覧ください。

バックアップデータから復元する

1 本製品の電源を OFF にしてから、以下の機材を本製品に接続します。
・HDMI ディスプレイを背面の HDMI コネクターに接続する
・USB キーボード、USB マウスを背面の USB ポートに接続する
・USB DVD ドライブを前面の USB ポートに接続する
・バックアップデータが保存された USB HDD を背面の USB ポートに接続する
※上記の機器以外は接続しないでください。

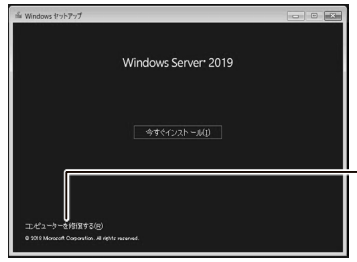
2 DVD ドライブにインストール DVD をセットし、本製品の電源を入れる

3 “Press any key to boot from CD or DVD.” と表示されるので、任意のキーを押す

4



5



6「オプションの選択」で、[トラブルシューティング] をクリック
※リカバリープログラムがドライブ C: に Windows システムを発見した場合、[続行] と表示されます。[続行] をクリックすると、リカバリープログラムを終了して、Windows を起動します。

7「詳細オプション」で、[イメージでシステムを回復] をクリック

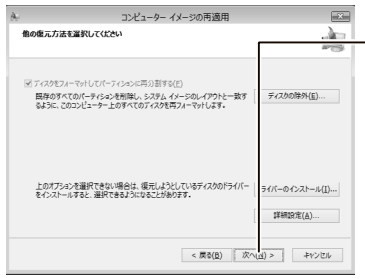
8 OS 選択が表示された場合は、[Windows Server] をクリック

9



[次へ] をクリック

10



[次へ] をクリック

※バックアップ時と同じ個体に対してリカバリーをおこなう場合、チェックを外します。
※バックアップ時とは別の個体に対してリカバリーをおこなう場合、チェックを入れます。
※チェックができない場合は、ハードディスクに対して Diskpart の clean コマンドを実施してください。

Diskpart の clean コマンドの実施方法

① USB HDD などの機器を取り外す
※誤って対象以外のディスクを消去しないためです。
②リカバリーメディアからコマンドプロンプトを起動する
※［詳細オプション］（前ページ手順 5）で［コマンドプロンプト］を選択します。
③ diskpart　と入力し、[Enter] キーを押す
④ list disk　と入力し、[Enter] キーを押す
⑤すべてのカートリッジのディスク番号を確認
⑥ sel disk x(x は⑤で確認した番号 ）と入力し、[Enter] キーを押す
⑦ detail disk と入力し、[Enter] キーを押す（目的のディスクであることを確認）
⑧ clean と入力し、[Enter] キーを押す
⑨ ⑥～⑧を繰り返し、すべてのカートリッジで clean を実行する
⑩ exit と入力し、[Enter] キーを押す
⑪本製品をシャットダウンし、手順 2 ～ 10 をおこなう
※チェックはグレーアウトしていますが、そのまま [次へ] をクリックしてください。

11 「コンピューターイメージの再適用」で、[完了] をクリック

12 内容を確認し、[はい] をクリック

ご注意

● [はい] をクリックすると、現在のディスク内容はすべて消去され、バックアップされていたイメージに置き換わります。

以上で復元処理は完了です。復元後は自動的に再起動しますので、インストール DVD を抜いてお待ちください。

資料

出荷時設定

コンピューター名	APS-WS19EI3
IP アドレス	自動取得
DNS サーバーアドレス	自動取得
RAID 状態	RAID1

ZWS Manager のログ、メール一覧

Windows のイベントビューアーにも記録されます

各種イベントログは、Windows の [サーバーマネージャー] を開き、[ツール] →［イベントビューアー] をクリックし、イベントビューアーの［Windows ログ］→［Application］内に「ソース名：ZWSRAID」で記録されます。

ログ・メール内容	メールタイトル	概要	対処
内蔵スロット x のディスクにエラーが検出されました。 システムを再起動しても再度エラーが検出される場合は、ディスクに致命的なエラーが発生している可能性があるため、至急交換してください。 (x は、1 ～ 2)	ディスクエラー	内蔵スロット x のディスクが「エラー」状態になった。 (x は、1 ～ 2)	至急システムボリュームおよびデータボリュームのバックアップを取ってください。 システムボリュームおよびデータボリュームに対してチェックディスクを実行してファ イルシステムに問題がないことを確認してください。 システムを再起動可能な場合は、再起動を行ってエラーが消えるか確認してください。 内蔵スロット x のディスクを交換してください。 ZWS Manager からアンプラグできない場合は、システムの電源を切ってから交換して ください。(x は、1 ～ 2)
システムボリューム上にエラーが検出されました。	ボリュームエラー	システムボリュームの状態が「失敗」となった。 システムボリュームの情報が「危険」となった。	至急システムボリュームのバックアップを取ってください。 システムボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。 システムが起動不能となった場合は、システムのリストアを行ってください。
データボリューム上にエラーが検出されました。	ボリュームエラー	データボリュームの状態が「失敗」となった。 データボリュームの情報が「危険」となった。	至急データボリュームのバックアップを取ってください。 データボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。 データボリュームにアクセスできなくなった場合は、データボリュームを再構築してください。
システムボリュームの冗長性が失われています。	ボリュームエラー	システムボリュームの状態が「冗長の失敗」となった。	至急システムボリュームのバックアップを取ってください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。

ログ・メール内容	メールタイトル	概要	対処
データボリュームの冗長性が失われています。	ボリュームエラー	データボリュームの状態が「冗長の失敗」となった。	至急データボリュームのバックアップを取ってください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。
システムボリュームの再構築が開始されました。	ボリューム情報	システムボリュームの状態が「再構築中」となった	システムボリュームの状況を確認してください。
データボリュームの再構築が開始されました。	ボリューム情報	データボリュームの状態が「再構築中」となった。	データボリュームの状況を確認してください。
システムボリュームの再構築が完了しました。	ボリューム情報	システムボリュームの状態が（「正常」以外の状態から）「正常」となった。	システムボリュームの状況を確認してください。
データボリュームの再構築が完了しました。	ボリューム情報	データボリュームの状態が（「正常」以外の状態から）「正常」となった。	データボリュームの状況を確認してください。
ZWS RAID Manager で管理できない状態です。	（メールなし）	内蔵ディスク上にボリュームが 3 個以上存在する。	内蔵ディスク上にシステムボリュームと、データボリュームが 1 個だけ存在する状態にしてください。
本体内部の温度が仕様範囲を超えたため本体をシャットダウンしました。	温度異常	システム温度が仕様範囲を超えた。	設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認して下さい。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼動していることを確認してください。
ファンの回転数が仕様範囲を下回ったため本体をシャットダウンしました。	ファン回転異常	本体に付属の FAN の回転数が仕様範囲を下回った。	FAN が正常に稼動していることを確認し、異常があれば修理してください。
Func ボタンが押され登録されているコマンド xxx が実行されました。（xxx は登録したコマンド）	（メールなし）	Func. ボタンが有効で、Func. ボタンが押された。	Func ボタン機能が有効の場合は、Func . ボタンを 3 秒以上押すと登録したコマンドが実行されますので、登録されたコマンドが実行されたことを確認してください。

アクティブリペア関連のログ、メール一覧

表示内容	説明	イベントログ	メール	NarSuS
手動操作によるアクティブリペアを開始しました。	「今すぐ実行」ボタンによりよるアクティブリペアを開始された。	あり	あり	あり
スケジュール実行によるアクティブリペアを開始しました。	スケジュール実行によるアクティブリペアを開始された。	あり	あり	あり
システムボリュームのアクティブリペアを開始しました。	システムボリュームのアクティブリペアを開始した。	あり	あり	あり
データボリュームのアクティブリペアを開始しました。	データボリュームのアクティブリペアを開始した。	あり	あり	あり
システムボリュームのアクティブリペアが完了しました。	システムボリュームのアクティブリペアが完了した。	あり	あり	あり
データボリュームのアクティブリペアが完了しました。	データボリュームのアクティブリペアが完了した。	あり	あり	あり
アクティブリペアが中断されました。	「停止」ボタン、本製品の再起動などによりアクティブリペアが中断された。	あり	あり	なし
アクティブリペア実行中にシステムボリュームで修復不可能なセクタが検出されました。 アクティブリペアを終了します。	アクティブリペア実行中にシステムボリュームの見つかった不良セクタの修復を試みた修復できなかった。	あり	あり	あり
アクティブリペア実行中にデータボリュームで修復不可能なセクタが検出されました。 アクティブリペアを終了します。	アクティブリペア実行中にデータボリュームの見つかった不良セクタの修復を試みた修復できなかった。	あり	あり	あり
システムボリュームのアクティブリペアに失敗しました。	システムボリュームのアクティブリペア実行中に問題が発生したのでエラー終了した。	あり	あり	あり
データボリュームのアクティブリペアに失敗しました。	データボリュームのアクティブリペア実行中に問題が発生したのでエラー終了した。	あり	あり	あり

アフターサービス

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（https://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ方法

よくあるご質問、マニュアル、最新ソフトウェア

https://www.iodata.jp/lib/

電話でのお問い合わせ

050-3116-3025

受付 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく）

※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

メールでのお問い合わせ

https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/landisk

修理の流れ

保証期間3年間

①	②	③	④	⑤	⑥
修理申込（申込番号発行）	修理センターに送付	検査	有償時のみ見積連絡	修理	修理品返送

①Webで修理申込

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。

https://www.iodata.jp/support/after/repair/

※Webページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに[名前・住所・TEL（FAX）・E-Mail・症状]を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

②修理センターに送付

- □ 商品一式
- □ 申込番号を書いたメモ（Web申込時に発行された番号）
- □ レシートや納品書など、購入日を示すもの

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
（株）アイ・オー・データ機器 修理センター宛
TEL 076-260-3617

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。（申込番号で検索）

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容
取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象
保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外
以下の場合は保証の対象とはなりません。
1）保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
2）修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
3）ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
4）中古品でご購入された場合
5）発火、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
6）お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
7）接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
8）取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
9）合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
10）弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
11）弊社が寿命に達したと判断した場合
12）保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
13）その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理
1）修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2）発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3）本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4）弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責
1）本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2）弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3）本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲
弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.

Microsoft License Terms

重要なお知らせ（後にライセンス条項が続きます）

診断情報と使用状況情報。マイクロソフトは、インターネットを介して自動的に情報を収集します。こうした情報は、お客さまの組織に関連する場合があります。収集された情報は、お客様のインストール、アップグレード、およびユーザーエクスペリエンス、ならびにマイクロソフトの製品およびサービスの品質およびセキュリティの改善に役立てるために使用されます。WindowsServer Essentials には 4 つの情報収集設定（セキュリティ、基本、拡張、および完全）があり、既定では［拡張］設定が使用されます。拡張レベルには、以下に必要とされる情報が含まれています。(i) マルウェア対策、および診断情報と使用状況情報に関するマイクロソフトテクノロジの実行、(ii) デバイスの品質、およびアプリケーションの使用状況と互換性の把握、ならびに (iii) オペレーティングシステムとアプリケーションの使用およびパフォーマンスに関する品質の問題の特定に必要な情報が含まれます。

選択および制御：管理者は、［設定］をから情報収集のレベルを変更することができます。診断情報と使用状況情報の詳細については、(aka.ms/inserverdata) およびMicrosoft のプライバシーに関する声明 (aka.ms/privacy) をご参照ください。

****

最終更新：2018 年 4 月

マイクロソフトソフトウェアライセンス条項

MICROSOFT WINDOWS SERVER ESSENTIALS

このたびはマイクロソフトをお選びいただきありがとうございます。本ライセンス条項は、Microsoft Corporation（またはお客様の所在地によってはその関連会社）とお客様との間の契約を構成します。以下のライセンス条項を、注意してお読みください。本ライセンス条項は、上記のソフトウェアおよびソフトウェアが記録された媒体（以下総称して「本ソフトウェア」といいます）に適用されます。また、本ライセンス条項は本ソフトウェアに関連する下記のマイクロソフト製品等にも適用されます。

・更新
・追加ソフトウェア
・インターネットベースのサービス

ただし、これらの製品に他のライセンス条項が付属している場合には、各製品のライセンス条項が適用されます。適用されるサポート情報は次で提供されています：(aka.ms/windowslifecycle)。

本ソフトウェアを使用することにより、お客様は本ライセンス条項に同意したとみなされます。本ライセンス条項に同意できない場合、本ソフトウェアを使用することはできません。この場合は、未使用のソフトウェアを購入店に返品し、お支払いいただいた金額の払い戻しを受けられる場合があります。購入店から払い戻しを受けられない場合は、マイクロソフトまたは最寄りのマイクロソフト関連会社までご連絡ください。詳細は (aka.ms/msoffices) をご参照ください。米国およびカナダではお電話、(800)MICROSOFT までいただくか、または (aka.ms/nareturns) をご参照ください。

以下に説明されるとおり、お客様は、ソフトウェアの一部の機能を使用することにより、自動更新、およびインターネットベースのサービスのために特定のコンピューター情報を送信することに同意したと見なされます。

評価版の使用権。お客様が本ソフトウェアの評価版を入手された場合、本ソフトウェアの使用には、本条項に規定される評価版の使用権が適用されます。
・お客様は、テスト、デモンストレーション、および内部評価を目的とした場合に限り本ソフトウェアを使用することができます。
・別途の契約でマイクロソフトから許諾を受けていない場合、本ソフトウェアを実際の運用環境において使用することはできません。
・お客様は、評価期間の終了後は、本ソフトウェアを使用する権利を有しません。
・第 1 項から第-3 項、第 5 項、第 9 項から第-15 項、および限定保証は適用されません。以下のその他の項目は適用されます。
・保証の免責本ソフトウェアは、現状有姿のまま提供されます。本ソフトウェアを使用することで生じるリスクは、お客様が負うものとします。マイクロソフトは、明示的な瑕疵担保責任または保証責任を一切負いません。お客様は、法域や国によっては、本契約によって変更されないその他の消費者としての権利を有する場合があります。お客様の地域の法律によって認められる範囲において、Microsoft は、商品性、特定目的に対する適合性、および侵害の不存在に関して一切責任を負いません。
・本ソフトウェアは「現状有姿のまま」で提供されるため、Microsoft は本ソフトウェアに関してサポートサービスを提供しない場合があります。
・救済手段および責任の制限および除外マイクロソフトおよびそのサプライヤーの責任は、5.00 米ドルを上限とする直接損害に限定されます。その他の損害（派生的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、および付随的損害を含みますがこれらに限定されません）に関しては、お客様は賠償を受けることはできません。
この制限は以下に適用されます。
・本ソフトウェア、サービス、第三者のインターネットのサイト上のコンテンツ（コードを含む）、または第三者のプログラムに関連した事項
・契約違反、保証違反、厳格責任、過失、または不法行為等の請求（適用される法令により認められている範囲において）。
この制限は、Microsoftがこのような損害の可能性を認識していたか、または認識しえた場合にも適用されます。また、一部の国では付随的損害、派生的損害、およびその他の損害の免責、または責任の制限が認められないため、上記の制限事項が適用されない場合があります。

お客様が本ソフトウェアの製品版を入手された場合、以下のライセンス条項がお客様に適用されます。

お客様が本ライセンス条項を遵守することを条件として、お客様には、取得した各ソフトウェアライセンスについて以下が許諾されます。

1. 概要

A. ソフトウェア。本ソフトウェアは次により構成されます。
・サーバーソフトウェア
・本サーバーソフトウェアとあわせた使用のみが認められる追加ソフトウェア

b. ライセンスモデル本ソフトウェアのライセンスは、以下に基づいて許諾されます。
・お客様が実行するサーバーソフトウェアのインスタンス数、および
・アクセス対象のサーバーソフトウェアの機能

c. ライセンスに関する用語
・インスタンスお客様は、ソフトウェアのセットアップまたはインストール手順を実行することにより、本ソフトウェアの「インスタンス」を作成したものとみなされます。また、既存のインスタンスを複製することによっても、ソフトウェアのインスタンスを作成したものとみなされます。本契約においてソフトウェアという場合、ソフトウェアの「インスタンス」も含まれます。
・インスタンスの実行。お客様は、ソフトウェアをメモリにロードし、その 1 つまたは複数の指示を実行することにより、ソフトウェアの「インスタンスを実行」したものとみなされます。一度あるインスタンスを実行すると、そのインスタンスは、（その指示の実行が継続されているか否かにかかわらず）それがメモリから削除される時点まで実行されているものとみなされます。
・オペレーティングシステム環境。「オペレーティングシステム環境」とは次のように定義されます。

(i) 別個のコンピューター（プライマリコンピューター名などの一意の識別子）または別個の管理者権限を識別できる、オペレーティングシステムインスタンスの全部または一部、仮想（またはエミュレートされた）オペレーティングシステムインスタンスの全部または一部

(ii) 上に規定したオペレーティングシステムインスタンスまたはその一部の上で作動するよう構成されたアプリケーションがある場合は、そのインスタンス

オペレーティングシステム環境には、物理環境と仮想環境の 2 種類があります。

物理オペレーティングシステム環境は、物理ハードウェアシステム上で直接作動するよう構成されています。ハードウェア仮想化ソフトウェア（Microsoft Hyper-V Server または同様のテクノロジなど）を実行するため、またはハードウェア仮想化サービス（Microsoft 仮想化テクノロジなど）を提供する

ために使用されるオペレーティングシステムインスタンスは、物理的オペレーティングシステム環境の一部と見なされます。

仮想オペレーティングシステム環境は仮想（またはエミュレートされた）ハードウェアシステムを実行するために構成されます。

物理ハードウェアシステムでは、以下のうちいずれかまたは双方が含まれることがあります。

(i) 1 つの物理オペレーティングシステム環境

(ii) 1 つまたは複数の仮想オペレーティングシステム環境

・サーバーサーバーとは、サーバーソフトウェアを実行することのできる物理的ハードウェアシステムまたはデバイスを指します。ハードウェアのパーティションまたはブレードは、別個の物理ハードウェアシステムとみなされます。

・ユーザーアカウント。ユーザーアカウントは、一意のユーザー名であり、関連するパスワードが設定されます。

・ライセンスの割り当てライセンスの割り当てとは、ライセンスを 1 台のデバイスまたは 1 人のユーザーに対して指定することを指します。

2. 使用権

a. ライセンスのサーバーへの割り当て。

i. 初回割り当て。お客様は、1 つのソフトウェアライセンスに基づいて本サーバーソフトウェアのインスタンスを実行する前に、ライセンスを、お客様のサーバーのうちの 1 つに割り当てる必要があります。そのサーバーは、その特定のライセンスに関して「ライセンスを取得したサーバー」とみなされます。お客様は、同じサーバーに他のソフトウェアライセンスを割り当てることはできますが、同じライセンスを 1 台を超えるサーバーに割り当てることはできません。

ii. 再割り当て。ソフトウェアライセンスを再割り当てすることはできますが、最後に割り当てた日から 90 日以内に再割り当てすることはできません。ただし、恒久的なハードウェアの故障により、ライセンスを取得したサーバーの使用を中止する場合には、その期間より早くソフトウェアライセンスを再割り当てすることができます。お客様がライセンスを再割り当てする場合、お客様がライセンスを再割り当てしたサーバーが、そのライセンスに関して新たな「ライセンスを取得したサーバー」とみなされます。

b. サーバーソフトウェアのインスタンスの実行

i. お客様は、一度に次のことを行うことができます。
・1 つの物理的オペレーティングシステム環境で、サーバーソフトウェアの 1 つのインスタンスを実行すること。
・ライセンス取得済みサーバー上の 1 つの仮想的なオペレーティングシステム環境で、サーバーソフトウェアの 1 つのインスタンスを実行すること。

ii. お客様は、本サーバーの Active Directory を構成しているドメイン内でサーバーソフトウェアを実行しなければなりません。
・ドメインコントローラー
(FSMO (Flexible Single Master Operations) の役割がすべて含まれている単一のサーバー）
・ドメインフォレストのルート
・子ドメインでないこと
・他のドメインとの信頼関係がない

iii. 許可された両方のインスタンスを同時に実行する場合、物理的オペレーティングシステム環境において実行されているサーバーソフトウェアのインスタンスは、ハードウェア仮想化ソフトウェアの実行またはハードウェア仮想化サービスの提供のみを目的として使用することができます。ハードウェア仮想化ソフトウェアまたはハードウェア仮想化サービスが実行されるインスタンスは、上記 (ii) の要件を満たす必要はありません。ハードウェア仮想化ソフトウェアまたはハードウェア仮想化サービスが実行されるインスタンスは、当該インスタンスをドメインコントローラーにする必要がない唯一の構成であるものとします。

c. サーバーソフトウェアの使用。お客様は、本サーバーソフトウェアのサブセクション 2b.iii にしたがって 1 つのインスタンス、または 2 つのインスタンスをライセンスを取得したサーバーにインストールして使用することができます。お客様は、最大 25 個のユーザーアカウントを使用できます。各ユーザーアカウントでは、指定されたユーザーによる当該サーバー上のサーバーソフトウェアへのアクセスおよびその使用が許可されます。

d. 追加のソフトウェアのインスタンスの実行。お客様は、以下に規定している Web サイトに一覧された追加ソフトウェアを、任意の数のデバイス上で物理的または仮想的な 1 つのオペレーティングシステム環境で任意の数のインスタンスを実行することができます。お客様は、追加ソフトウェアをサーバーソフトウェアと共にのみ使用することができます。追加ソフトウェアの一覧については、(aka.ms/additionalsoftware) をご参照ください。

e. お客様のサーバーまたはストレージメディア上でのインスタンスの作成と格納お客様は、取得するソフトウェアライセンス 1 つにつき、本ソフトウェアの任意の数のインスタンスを作成し、かかるインスタンスをお客様の任意のサーバーまたはストレージメディアに格納することができます。お客様は、適用される使用権説明書に記載されているライセンスに基づいて本ソフトウェアのインスタンスを実行する権利を行使する目的に限り、インスタンスを作成および格納することができます。お客様は、インスタンスを第三者に頒布することはできません。

f. 含まれるマイクロソフトプログラム。本ソフトウェアには、他の Microsoft プログラムが含まれています。お客様によるこれらのプログラムの使用には、サーバーソフトウェアで使用される本ライセンス条項が適用されます。

3 追加のライセンス条件および追加の使用権。

a. Windows Server Active Directory Rights Management Services クライアントアクセスライセンス（「CAL」）.お客様は、ユーザーが Windows Server Active Directory Rights Management Services の機能に直接または間接的にアクセスするために使用するユーザーアカウントごとに、Windows Server Active Directory Rights Management Services CAL を取得する必要があります。

b. マルチプレキシング（多重化）マルチプレキシングまたはプーリングによって本ソフトウェアとの直接接続を減らしても、必要な種類のライセンスの数を減じることはできません。

c. フォントコンポーネント。本ソフトウェアが動作している間は、そのフォントを使ってコンテンツの表示および印刷を行うことができます。ただし、以下の場合に限定されます。
・フォントの埋め込みに関する制限の下で許容される範囲でコンテンツにフォントを埋め込む。
・コンテンツを印刷するために、フォントをプリンターまたはその他の出力デバイスに一時的にダウンロードする。

d. アイコン、画像、および音声。本ソフトウェア作動中、本ソフトウェアのアイコン、画像、音声、およびメディアを使用することはできますが、これらを第三者に提供することはできません。本ソフトウェアとあわせて提供されるサンプルの画像、音声、およびメディアは、お客様の非商業的な使用のみを目的としています。

e. サーバーソフトウェアの分離の禁止明示的に許可されている場合を除き、お客様は、1 つのライセンスに基づいてサーバーソフトウェアを分離して複数のオペレーティングシステム環境で実行することはできません。この制限は、それらのオペレーティングシステム環境が同一の物理ハードウェアシステム上に存在する場合でも適用されます。

f. インスタンス上限。本ソフトウェアまたはお客様のハードウェアにより、サーバー上の物理または仮想オペレーティングシステム環境で実行することができる本サーバーソフトウェアのインスタンスの数が制限される場合があります。

G. 追加の機能マイクロソフトは、本ソフトウェアについて追加の機能を提供することがあります。その際に、別途使用条件および料金が別途適用されることがあります。

4. アクティベーションおよび認証ソフトウェアのアクティベーションと認証には、適切な製品を使用する必要があります。ソフトウェアで指定された時間が経過した後、本ソフトウェアを使用するお客様の権利は、アクティベーションが完了するまで制限されます。アクティベーションに失敗すると、お客さまは本ソフトウェアを使用できなくなり、アクティベーションや認証を回避することはできません。この場合、インターネット、電話および SMS の通話料金が発生することがあります。

5. ACTIVE DIRECTORY。初回インストールの日から 30 日後、ソフトウェアは Active Directory が上記の第 2b.ii. 項で規定されるとおり適切に構成されているかどうかを定期的にチェックします。チェックに失敗すると、構成を訂正を促す警告が表示され、コンプライアンス違反が続いた場合ソフトウェアの自動シャットダウンが行われます。構成が修正された場合、警告は表示されなくなり、自動的なシャットダウンが発生しなくなります。

6. プライバシーおよびデータの使用への同意。マイクロソフトは、お客様のプライバシー保護を重視しています。本ソフトウェアの一部の機能は、それらの機能の使用時に情報を送受信します。これらの機能の多くは、ユーザーインターフェイスで解除できます。または、それらを使用しないことを選択することができます。お客様は、本ライセンス条項に同意し、本ソフトウェアを使用することで、マイクロソフトが、Microsoft プライバシーに関する声明 (aka.ms/privacy)、および本ソフトウェアの機能と関連付けられているユーザーインターフェイスの記載に従って、情報を収集、使用、および開示できることに同意します。

7. データストレージテクノロジ。本サーバーソフトウェアには、Windows Internal Database と呼ばれるデータストレージテクノロジが含まれている場合があります。本サーバーソフトウェアのコンポーネントは、データを格納する目的でこのテクノロジを使用します。お客様はその他の目的で本契約に基づいてこのテクノロジを使用したり、アクセスしたりすることはできません。

8. 制限.本ソフトウェアは使用許諾の対象であり、販売されたものではありません。本ライセンス条項は、お客様に本ソフトウェアを使用する限定的な権利を許諾します。その他の権利はすべて Microsoft が留保します。適用される法令によって本ライセンス条項の制限を超える権利が許諾された場合を除き、お客様は本ライセンス条項で明示的に許可された方法でのみ本ソフトウェアを使用できます。お客様は、ソフトウェアに組み込まれた使用方法を制限する技術的制限に従うものとします。詳細については、(aka.ms/userights) をご参照ください。お客様は、以下を行うことはできません。
・本ソフトウェアの技術的な制限を回避して使用すること。
・本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆アセンブルまたはその他の方法で本ソフトウェアのソースコードを取り出そうと試みること。ただし、(I) 適用される法令により認められている場合、または (ii) 本ソフトウェアに一定のオープンソースコンポーネントが含まれる場合において当該コンポーネントの使用に適用される第三者のライセンス条項により上記の行為が求められている場合には、当該範囲に限って上記の行為が認められます。
・本ソフトウェアのファイルおよびコンポーネントを、他のオペレーティングシステムまたは他のオペレーティングシステム上で実行されているアプリケーション内で使用すること。
・本ライセンス条項で規定されている数以上の本ソフトウェアの複製を作成すること。ただし、適用される法令により認められている場合を除きます。
・第三者が複製できるように本ソフトウェアを公開すること。
・ソフトウェアをレンタル、リース、または貸与すること。
・本ソフトウェアを商用ソフトウェアホスティングサービスで使用すること。
任意のデバイス上のソフトウェアにアクセスする権利は、そのデバイスにアクセスするソフトウェアまたはデバイスに関するマイクロソフトの特許またはその他の知的財産権を行使する権利をお客様に認めるものではありません。

9. 更新。本ソフトウェアでは、システムの更新が定期的に確認され、自動的にインストールされます。お客様は、マイクロソフトまたは正規の提供元からのみ更新プログラムを取得できます。マイクロソフトは、当該更新プログラムをお客様に提供するために、お客様のシステムを更新する必要がある場合があります。お客様は、本ライセンス条項に同意することにより、追加通知なくこのような種類の自動更新プログラムを受け取ることに同意するものとします。

10. バックアップ用の複製。お客様は、本ソフトウェア媒体のバックアップ用の複製を 1 部作成することができます。この複製は、本ソフトウェアのインスタンスを作成する目的にのみ使用することができます。

11. 再販禁止ソフトウェア。お客様は、「NFR」または「再販禁止 (Not for Resale)」の表示のあるソフトウェアを販売することはできません。』

12. Academic Edition ソフトウェア。本ソフトウェアに「Academic Edition」または「AE」と明記されている場合、お客様は「適格教育ユーザー」として指定されている方でなければなりません。お客様が適格教育ユーザーであるかどうか不明な場合は、aka.ms/academicedition をご覧になるか、またはお住まいの地域のマイクロソフト関連会社までお問い合わせください。

13. ダウングレード。お客様は本ソフトウェアのインスタンスを作成、格納、および使用せず、旧バージョンのインスタンスを許可された各インスタンスに作成、格納、および使用することができます。このダウングレードオプションに基づいて使用を選択した旧バージョンの使用に関しては、本ライセンス条項が適用されます。誤解を避けるため、このダウングレードオプションを選択すると、お客様は、契約で許可されている数より多くのソフトウェアのインスタンスを作成、保存、または使用できなくなります。旧バージョンに本ライセンス条項の適用対象ではない異なるコンポーネントが含まれている場合、それらのコンポーネントの使用については、旧バージョンのコンポーネントに付随するライセンス条項の該当する条件が適用されます。マイクロソフトは、お客様に旧バージョンを提供する義務を負いません。お客様は、いつでも、本ソフトウェアの旧バージョンを本バージョンに置き換えることができます。

14. ライセンスの証明。お客様が本ソフトウェアをディスクまたはその他の媒体で入手された場合、本ソフトウェアが正当に許諾されたものであることは、正規の「Proof of License」ラベルが正規の本ソフトウェアの複製に付属していることにより識別することができます。正規のラベルはマイクロソフトの本ソフトウェアの梱包に貼付されている必要があります。ラベルが本ソフトウェアの梱包とは別に提供されたものである場合は無効とみなします。お客様が本ソフトウェアの使用許諾を受けていることを証明するため、ラベルが貼付された梱包材を保管してください。正規のマイクロソフトソフトウェアを識別する方法については、(aka.ms/genuine) をご参照ください。

15. 第三者への譲渡。本ソフトウェアの最初のユーザーは、本ソフトウェア、本契約、および CAL を直接第三者に譲渡することができます。譲渡に先立ち、本ソフトウェアの譲受人は、本契約が本ソフトウェアの譲渡および使用に適用されることに同意する必要があります。譲渡には、本ソフトウェアおよび「Proof ofLicense」ラベルが含まれる必要があります。最初のユーザーは、本ソフトウェアの別のライセンスを保持していない場合は、本ソフトウェアのインスタンスを一切保持することはできません。本ライセンス条項のいずれの条項も、適用される法令に基づいて認められる範囲において、頒布権が消尽した場合に本ソフトウェアの譲渡を禁止するものではありません。

16. H.264/AVC ビジュアル規格、MPEG-4 ビジュアル規格、および VC-1 ビデオ規格に関する注意。本ソフトウェアには、H.264/AVC、MPEG-4、および VC-1 ビデオデコーディングテクノロジが含まれていることがあります。このテクノロジについては、MPEGLA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。

本製品は、消費者による個人的かつ非商業的使用を前提とし、「H.264/AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE」、「MPEG-4 PART 2 PATENT PORTFOLIO LICENSE」、「VC-1 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE」に基づいて次の用途に限ってライセンスされています。(i) 上記の規格（以下「ビデオ規格」といいます）に従ってビデオをエンコードすること、または (ii) 個人的かつ非商業的活動に従事する消費者がエンコードした AVC、MPEG-4PART 2、および VC-1 ビデオをデコードする、もしくは、かかるビデオを提供するライセンスを有するビデオプロバイダーから取得したビデオをデコードすること。その他の用途については、明示か黙示かを問わず、いかなるライセンスも許諾されません。詳細については、MPEG LA, L.L.C の mpegla.com をご参照ください。

17. ADOBE FLASH PLAYER。本ソフトウェアには、Adobe Systems Incorporated の条項 (aka.ms/adobeflash) に基づいてライセンスが許諾される Adobe Flash Player が含まれています。Adobe および Flash は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

18. 第三者のコンポーネント。本ソフトウェアには、別途の法的通知または別の契約が適用される第三者のコンポーネントが含まれている場合があり、これらについては本ソフトウェアに付属する ThirdPartyNotices ファイルに規定されています。

19. 地理的制限および輸出規制。お客様のソフトウェアの使用が特定の地域に限定されている場合、お客様は、その地域でのみ本ソフトウェアのライセンス認証を行うことができます。また、お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法（輸出対象国、エンドユーザーおよびエンドユーザーによる使用に関する制限を含みます）を遵守することが義務づけられています。地理的制約および輸出規制の詳細については、(aka.ms/georestrict) および (aka.ms/exporting) をご参照ください。

20. サポートサービス。マイクロソフトでは、(aka.ms/mssupport) の規定に従い、本ソフトウェアについてサポートサービスを提供します。

21. 完全合意。本ライセンス条項（下記の保証規定を含みます）、ならびに追加ソフトウェア、更新プログラム、インターネットベースのサービス、およびサポートサービスに関する使用条件は、本ソフトウェアおよびサポートサービスについてのお客様とマイクロソフトとの間の完全なる合意です。

22. 準拠法契約違反に対する請求、不正競争防止法、および黙示の保証に関する法令に基づく請求、不当利得返還請求、ならびに不法行為に基づく請求を含む、本ソフトウェア、その対価、または本ライセンス条項に関するすべての請求および紛争には、抵触法にかかわらず、お客様の住所（または会社の場合は主たる業務地）の地域または国の法令が適用されます。

23. 地域による違い。本契約は、特定の法的な権利を規定したものです。お客様は、地域や国によっては、消費者権利を含め、その他の権利を有する場合があります。また、お客様が本ソフトウェアを取得した当事者に関する権利を有する場合もあります。本契約は、お客様の地域または国の法令で認められていない場合は、契約のその他の権利は変更されないものとします。たとえば、お客様が本ソフトウェアを以下のいずれかの地域で取得した場合、または強行的な国の法令が適用される場合には、以下の規定がお客様に適用されます。

    A. オーストラリア。「限定的保証」とは、マイクロソフトが提供する明示的な保証を指します。本保証は、オーストラリアの消費者法に基づく法律上の保証に従うお客様の権利および救済を含む、お客様が法令に基づいて保有する他の権利および救済に加えて提供されます。
    本条項において「製品」とは、マイクロソフトが明示的な保証を提供するソフトウェアをいいます。マイクロソフトの製品には、オーストラリアの消費者法に基づき除外することのできない保証が付されています。お客様は、重要な不具合について交換または返金を受け、その他の合理的に予見可能な損失または損害については補償を受ける権利を有します。さらに、製品が許容品質に達しておらず、かつその不具合が重要な不具合に至っていない場合についても、製品の修理または交換を受ける権利を有します。

    B. カナダ。お客様は、自動更新機能またはインターネットアクセスを無効にすることにより、更新プログラムの受信停止を選択することができます。お客様の特定のデバイスまたはソフトウェアで更新を無効にする方法については、製品ドキュメントをご覧ください。

    C. 欧州連合。上記の第 12条に規定されているアカデミックパックの使用の制限は、本サイト (aka.ms/academicuse) に記載されている地域では適用されません。

    D. ドイツおよびオーストリア。

    (i) 保証正規にライセンスを取得したソフトウェアは、本ソフトウェアに付属する Microsoft の資料の記載に実質的に従って動作します。ただし、Microsoftは、ライセンスを取得したソフトウェアに関して契約上の保証を一切行いません。

    (Ii) 限定責任。故意、重過失、製品責任法に基づく請求があった場合、および死亡、人的または物的損傷があった場合、Microsoft では、制定法にしたがって責任を負うものとします。

    前文に従って、マイクロソフトが重大な契約上の義務、すなわち、本ライセンス条項の正当な履行を支援する義務の遂行、本契約の目的を危うくする義務の不履行、および当事者が常に信頼できる義務の遵守（「基本義務」といわれます）に違反した場合、マイクロソフトは軽過失に限り責任を負います。その他の軽過失については、Microsoftは責任を負いません。

    E. その他の地域。地域による差異の最新の一覧については、(aka.ms/variations) をご参照ください。

****

限定的保証

マイクロソフトは、適切にライセンスを取得したソフトウェアが実質的に、本ソフトウェアに付属しているマイクロソフト資料に説明されているとおり動作することを保証します。この限定保証規定では、お客様が原因となって生じた問題、お客様が指示に従わなかったことで生じた問題、またはマイクロソフトの合理的な支配の及ばない事柄に起因して発生した問題は対象とされません。限定保証規定は、最初のユーザーが本ソフトウェアを取得した日から発効し、その後 1 年間有効です。その 1 年間にお客様がマイクロソフトから受け取ることのあるすべての追加ソフトウェア、更新プログラム、および交換ソフトウェアも保証の対象となりますが、その場合は、当該 1 年の期間の残りの日数か、または 30日のいずれか長いほうの期間となります。本ソフトウェアを譲渡しても、その限定保証規定の期間が延長されることはありません。

マイクロソフトは、その他の明示の保証、条件、瑕疵担保、またはその他本ソフトウェアの品質について一切責任を負いません。マイクロソフトは、商品性、特定目的に対する適合性、または権利侵害の不存在に関する黙示の保証および条件を含め、いかなる黙示の保証または条件についても一切責任を負いません。地域の法律により、黙示の保証の制限をマイクロソフトが行うことが認められていない場合、黙示の保証は、上記の限定保証規定期間中に限り、法律上許容される限り、限定された内容においてお客様に与えられるものとします。お客様の地域の法律によって、契約上の制限にかかわらず、より長い有効期間が限定保証規定に求められる場合、当該より長い期間が適用されます。ただし、お客様が請求しうる内容は、本ライセンス条項で許可されている内容に限定されます。

マイクロソフトが限定保証規定に違反した場合、マイクロソフトは自らの裁量において、(i) 無償で本ソフトウェアを修理もしくは交換するか、または (ii) 本ソフトウェア（もしくはマイクロソフトの裁量により、本ソフトウェアがプレインストールされたマイクロソフトブランドのデバイス）の返品を受け入れて購入金額を払い戻します。

以上が、保証規定違反に対する、お客様への唯一の権利となります。本限定保証規定は、お客様の法的な権利を定めたものです。また、お客様は地域によって、その他の権利を有する場合があります。マイクロソフトが提供することのある修理、交換、または払い戻しを除き、本限定保証規定、本ライセンス条項の他のすべての部分、またはその他の法理に基づいても、お客様はいかなる損害（逸失利益、直接損害、結果的損害、特別損害、間接損害、付随的損害を含みます）の賠償またはその他の請求を行うことはできません。本ライセンス条項に規定する損害の免責および救済手段の制限は、修理、交換、または払い戻しによってお客様の損失が完全に補償されない場合、マイクロソフトがこのような損害の可能性を認識していたか、もしくは認識し得た場合、または本ライセンス条項に規定する救済手段がその実質的目的を達成できない場合にも適用されます。一部の地域及び国では付随的損害、派生的損害、またはその他の損害の免責、または制限を認めないため、上記の制限または免責がお客様に適用されないことがあります。お客様の地域の法律において、かかる契約上の責任の制限または免責にもかかわらず、マイクロソフトに損害の賠償を請求することが認められる場合、お客様が請求できる金額は、お客様が本ソフトウェアに対して支払った金額（またはお客様が本ソフトウェアを無償で取得した場合は 50米ドル）を上限とします。

保証に関するお問い合わせ

サービスまたは返金を受ける場合、お客様は、お客様の購入証明書のコピーを提供し、マイクロソフトの返品方針に従わなければなりません。この方針により、お客様は、本ソフトウェアをアンインストールしてマイクロソフトに返品するか、または本ソフトウェアと共に、本ソフトウェアがインストールされているマイクロソフトブランドのデバイス全体を返品することが求められる場合があります。プロダクトキーを含む Certificate of Authenticity ラベルは、お客様のデバイスと共に提供された場合、貼付されたままでなければなりません。

1. 米国およびカナダ。米国またはカナダで入手された本ソフトウェアに関する保証サービスまたは返金に関して不明な点がございましたら、(800) MICROSOFT まで電話でご連絡いただくか、Microsoft Customer Service and Support (One Microsoft Way, Redmond, WA 98052-6399) まで便でご連絡いただくか、または (aka.ms/nareturns) をご覧ください。
2. ヨーロッパ、中東、およびアフリカ。本ソフトウェアをヨーロッパ、中東、またはアフリカで入手された場合、Microsoft Ireland Operations Limited (Customer Care Centre, Atrium Building Block B, Carmanhall Road, Sandyford Industrial Estate, Dublin 18, Ireland) または最寄りのマイクロソフト関連会社 (aka.ms/msoffices) までご連絡ください。
3. オーストラリア。本ソフトウェアをオーストラリアで入手された場合、1320 58 まで電話でご連絡いただくか、Microsoft Pty Ltd (1 Epping Road, North Ryde NSW 2113 Australia) まで郵便でご連絡いただき、請求を行ってください。
4. その他の国。上記の国以外で本ソフトウェアをご購入の場合は、最寄りのマイクロソフトの関連会社までご連絡ください。連絡先については、(aka.ms/msoffices) をご参照ください。日本については、www.microsoft.com/japan/ をご参照ください。

EULAID:April2018_UE_ESS_ja-JP

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
   したがって、別段の定めの無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、発火事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、発火延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
   また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

発 行　株式会社アイ・オー・データ機器

商品アンケートにご協力願います

型　番	**APS2-WS19EI3シリーズ**
保証期間	ご購入日より **3** 年間有効です

☆お客様	ふりがな お名前　　様 TEL.（　　）　　－ 〒□□□-□□□□ ご住所

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。
記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。 販売店欄は販売店でご記入いただくものです。 記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。
また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

販売店	ご購入日 住所・店名　　印 TEL.（　　）　　－

ご販売店様へ

1.お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご購入日欄に記入し貴店名／住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2.記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（修理センター宛）にご依頼ください。

I-O DATA
株式会社 アイ・オー・データ機器

【保守サービスのご案内】

アイオー・セーフティ・サービス（ISS）は、本製品をより長く安心してご利用いただくために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。
設置から、故障時の交換、ハードディスクのデータ復旧まで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。詳しくは以下をご確認ください。

https://www.iodata.jp/biz/iss/tokusetsu/

進化する明日へ Continue thinking
株式会社 アイ・オー・データ機器
https://www.iodata.jp/